

平成 21 年度は、博物館事業の基本となる合計 6 つの特別展、企画展、共催展や 9 つのプラネタリウム番組の投映に加えて、教育普及活動としての学習支援展示や移動天文車派遣、世界天文年に関連した各種事業等を行いました。

展覧会については、「ファール昆虫記の世界展」や「内藤ルネ展」など幅広い世代を対象にしたものに加えて、当市の歴史を伝えるため、初めて国指定史跡となった「久留倍官衙遺跡展」などを開催するとともに、学習支援展示として「むかしの暮らし」などを前年度に引き続いて開催しました。

プラネタリウムについては、本年はガリレオ・ガリレイが天体観測を始めて 400 年目にあたることから、ガリレオに因んだ自主制作番組「その時地球が動いた」の投映や「日食観望会」などを行い、世界天文年の周知活動を通して、天体観測の楽しさを伝えることに努めました。

また当館では、学校教育への支援にも力を入れ、特に天文事業では、学校から見学に来てもらうだけでなく、博物館職員が学校へ出向いて行う「連携授業」を実施しています。中学校へは移動式プラネタリウム、小学校へは立体映像システムを使用して、学校での普通の授業では得られない体験を通して、学校教育がより豊かなものとなるよう努めてきました。

今後も博物館は、平成 17 年に策定した「四日市市立博物館の使命（基本理念）」に基づき、諸活動を行ってまいります。

※ なお、記載にあたっては、個人・団体の敬称は略させていただきます。ご了承ください。

平成 22 年 6 月
四日市市立博物館



四日市市立博物館の使命（平成 17 年 8 月）

1. 市民の創造性を高めます
2. 郷土を大切に作る心を育みます
3. 世代をつなぎます
4. 歴史を未来に活かします
5. 学校教育をより豊かなものにします

目 次

I	事業概要	
1	博物館事業	
1	常設展示	3
2	企画・特別展示	3
3	教育普及事業	7
4	資料収集保存事業	11
5	調査研究事業	15
2	プラネタリウム投映事業	
1	天文展示	16
2	投映活動	16
3	天文教育普及事業	21
II	管理・運営	
1	組織	25
2	予算	26
3	博物館協議会	27
4	施設の利用	27
5	年報の発行	29
6	利用状況	29
7	関係法規	31
III	施設概要	36
IV	利用案内	39

I 事業概要

1 博物館事業

1 常設展示

基本テーマ「伊勢湾と鈴鹿山脈のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代までの四日市市及び北勢地域のあゆみを、「北勢地域のおいたちと自然環境」、「原始・古代の人びとの生活」、「四日市と四日市庭浦の成立」、「東海道と伊勢参宮道の賑わい」、「四日市港と近代産業の発展」、「戦災からの復興と都市の創造」の六つのテーマで構成し、その時代の特色を浮き立たせるよう工夫している。

コーナー展示では、戦前に東海地方有数の祭りであった「四日市祭」と、「浮世絵」に描かれた四日市の展示を行っている。

また、文化勲章受章作家で名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくために、丹羽文雄記念室を平成18年12月9日に開館した。



平成21年度常設展示

開館日数	300日
観覧者数	22,399人
観覧料	無料

2 企画・特別展示

本年度は、五つの展覧会と、共催事業として「第51回北勢地区高等学校美術展」を開催し、幅広い年代層に訴えることができた。

(1) 特別展1 「木とあそぼ！—親子で楽しむふれあいランド—」展

[主催] 四日市市立博物館
[助成] (財)岡田文化財団
[協力] 静岡アートギャラリー
[監修・制作] 杉山明博 (造形家 富士常葉大学教授)

- 会期：4月25日(土)～6月14日(日) 45日間
- 観覧者数：5,526人
- 観覧料：一般700円、高校大学生500円、中学生以下無料

■担当者所感 (企画普及係 秦 昌弘)

監修者であり作品の制作者であった杉山明博氏が、長年にわたって幼児教育のなかで果たす美術教育について研究をすすめてきた一つの成果として、同氏が制作した体験型作品を中心とした展覧会であった。

一時間以上にわたって遊んでいく親子も多く見られ、家庭とはまた異なった親子のふれあいを展示会場で行えたことで、一定の満足を提供できたものと思われる。

展覧会及び関連行事の「木とあそぼ」(子ども博物館教室)では、親子が楽しみながら「学ぶ」という様子がみられたことは、博物館活動の一つのあり方を示しているものであり、この点に留意しながら今後の事業展開を図っていきたい。



(2) 特別展2 「フェアブル昆虫記の世界」展

- [主催] 四日市市立博物館・中日新聞社
[後援] フランス大使館・岩波書店・集英社・小学館
新潮社・日本国際児童図書評議会
[助成] (財)岡田文化財団
[協力] ドラグラーフ出版・アヴェイロン県議会
埼玉大学図書館・国立科学博物館
海洋堂フィギュアミュージアム黒壁 龍遊館
日本航空・カトーレック



- 会期：6月27日(土)～8月30日(日) 56日間
- 観覧者数：9,733人
- 観覧料：一般600円、高校大学生400円、中学生以下無料
- 関連行事

- ミュージアム体験
「世界に一匹、自分だけの昆虫をつくろう」
日時：6月20日(土) 14:00～16:00
講師：石田 昇三 (日本昆虫学会会員)
参加者：小学生親子9組
- 子ども博物館教室
ワークショップ「きみもフェアブルだ」
日時：7月25日(土) 10:00～12:00
講師：西浦 爽 (元中学校校長)
野口 裕 (当館指導主事)
参加者：小学生31人
- 子どものためのワークショップ
「セミのひみつをさぐろう！」
日時：7月26日(日) 18:00～
講師：岡山 泰三 (塩浜中学校教頭)
野口 裕 (当館指導主事)
参加者：雨天の為、中止
- 子どものためのワークショップ
夏休み宿題教室①「昆虫ペーパークラフト」
日時：8月27日(木) 10:00～12:00
講師：野口 裕 (当館指導主事)
参加者：小学生38人
- 子どものためのワークショップ
夏休み宿題教室②「流木で昆虫モビール」
日時：8月28日(金) 10:00～12:00
講師：野口 裕 (当館指導主事)
参加者：小学生34人
- 子どものためのワークショップ
夏休みの宿題教室③「これで完ぺき自由研究」
日時：8月29日(土) 10:00～12:00
講師：西浦 爽 (元中学校校長)
岡山 泰三 (塩浜中学校教頭)
参加者：小学生3人



■担当者所感 (企画普及係 野口裕)

本展では、2003年EDF(フランス国営電力会社)センター(パリ)で開催された展覧会「ジャン・アンリ・フェアブルー人間、昆虫ー」を基に、日本での受容の歴史やフェアブルにまつわる作品を追加展

示しながら、フェアブル『昆虫記』の周辺を様々な作品と資料によって振り返った。また、関連行事として子ども対象に、ワークショップ「夏休みの宿題教室①～③」を実施した。アンケートの中にも「子供が活動できる場がほしい。(オリジナルの虫を作るとか、粘土で虫を作るとか)」「子供の参加できるイベントをたくさんやってほしい。」という意見があるように夏休みの子どもたちに対するニーズにこたえる工夫もこれからの活動として必要であろう。3日連続の開催であったので準備など大変な面もあったが、いずれも盛況で、所期の目的を達成することができたと思われる。

博物館に親しむためにも、生涯学習の一環としても、家族で楽しむ場としても『夏休み期間をどう対応するのか』ということは重要なポイントであり、これからも多様なワークショップやワークシート、スタンプラリーなど入館者が楽しく参加できるものを企画したりして「展覧会に付加価値をつけていく」ことが必要であると改めて感じた。

(3) 特別展3 「包むころ ふろしき」展

[主催] 四日市市立博物館

[共催] 中日新聞社 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社
伊勢新聞社 シー・ティー・ワイ エフエムよっかいち
NHK津放送局 三重テレビ放送

[助成] (財)岡田文化財団

[特別協力] 山田繊維株式会社 株式会社内田洋行

■会期：9月19日(土)～11月8日(日) 45日間

■観覧者数：2,794人

■観覧料：一般700円、高校大学生500円、中学生以下無料

■関連行事

○ミュージアム体験

「ふろしきで、“シック”な暮らしをしませんか」(講座室)

日 時：9月12日(土)14時～15時30分

講 師：鈴木田美知子(服飾アドバイザー)

参加者：一般18人

○ワークショップ

「今だから、ふろしきライフ」

日 時：9月19日(土) ①14時～15時30分 参加者21人

10月24日(土) ②10時～12時 参加者41人

③14時～15時30分 参加者31人

講 師：山田悦子(京都和文化研究所むす美)

参加者：一般①21人、②41人、③31人

場 所：①じばさんみえ 研修室5、②③講座室

○子ども博物館教室

「何でも包む魔法のふろしき？」

日 時：9月26日(土)10時～12時

講 師：廣瀬 毅(当館学芸員)

参加者：小学生と保護者10人

○講演会

「風呂敷の歴史と文化 絵巻物や文献から人々の姿を探る」

日 時：10月3日(土)14時～15時30分

講 師：深澤琴絵(風呂敷歴史研究家)

参加者：一般30人



■ 担当者所感 (企画普及係 廣瀬毅)

この展覧会は既開催館での入場者が少なかったことを考慮して、新聞社や放送局などに名義後援を依頼し、多くのメディアに取り上げていただいたが、残念ながら来館者増には結びつかなかった。

和布収集家三瓶清子氏の江戸から昭和までの貴重な風呂敷コレクションと、現代の暮らしに取り入れやすい風呂敷の使い方を会場内に展示し、風呂敷の美とその可能性を展示した。また当館所蔵の浮世絵などを用いて描かれている風呂敷を紹介するコーナーを新たに設け、四日市会場のオリジナリティを打ち出した。また体験コーナーでは、ボランティアが来館者に包み方を手ほどきするなど、来館者とのコミュニケーションを通じて、風呂敷の素晴らしさを伝えることができた。展覧会開催前に「広報よっかいち」で市民に提供を呼びかけた風呂敷や風呂敷にまつわる思い出を会場内に展示できたことも良かった。

(4) 企画展1 「古代朝明の風景—^{くるべかんが}久留倍官衙遺跡展」

[主催] 四日市市教育委員会

[助成] (財)岡田文化財団

■会期：12月5日(土)～平成22年1月24日(日) 38日間

■観覧者数：2,098人

■観覧料：一般300円、高校大学生100円、中学生以下無料

■ 関連行事

・ 記念講演会

「古代の役所のたてもの」

日 時：1月16日(土)

講 師：島田敏男(奈良文化財研究所)

参加者：58人

・ ミュージアムセミナー

「壬申の乱と四日市」

日 時：12月12日(土)

講 師：山中 章

参加者：88人

■担当者所感(社会教育課 担当者)

市域では初めての国指定史跡である久留倍官衙遺跡の現時点の成果を公表することを目的に企画した展覧会で、各年齢層の方に興味を持っていただけた。講演会のテーマである「壬申の乱」「古代のたてもの」といった久留倍官衙遺跡を考える上でのキーワードとなる事象に、多くの人々の関心が集中したことで、久留倍官衙遺跡の活用の方向性を知ることができた展覧会であった。



(5) 特別展4 「内藤ルネ展 “ロマンティック” よ、永遠に」

[主催] 四日市市立博物館・朝日新聞社

[助成] (財)岡田文化財団

■会期：平成22年2月13日(土)～3月22日(月・祝) 33日間

■観覧者数：4,805人

■観覧料：一般800円、高校大学生500円、中学生以下無料

■ 関連行事

○子ども博物館教室

「めざせ一流デザイナー!!」

日 時：2月21日(日)10時～12時

講 師：野口 裕(当館指導主事)

参加者：小中学生と保護者43人

○ 記念講演会

「<カワイイ>文化を考える」

日 時：2月20日(土)14時～15時

講 師：香山リカ氏(精神科医、立教大学現代心理学部)



教授)

場 所：じばさん三重 6階ホール

参加者：一般 213人



■担当者所感（企画普及係 廣瀬毅）

現代日本が世界に誇れる文化の一つに「カワイイ」文化があるが、これを確立させた一人が内藤ルネである。本展では、内藤ルネについて年代を追って、イラストレーター、インテリアコーディネーター、グッズプランナーなどの多才な面を約1,000点にも及ぶ資料や作品で紹介した。会期中は学習支援展示「むかしのくらし」もあり、昭和の暮らし（文化）を多角的に見せることができたと思う。

(6) 共催展 「第51回北勢地区高等学校美術展」

北勢地区の高等学校美術部の生徒が授業などで制作した作品を中心に展示した。



[主催] 三重県高等学校文化連盟、三重県教育委員会、四日市市立博物館

■会期：2月2日(火)～7日(日) 6日間

■観覧者数：476人

■観覧料：無料

(7) 常設展の活用（学習支援展示）

①大昔の四日市 — 弥生時代と古墳時代 —	4月18日(土)～6月7日(日)	サルビニアギャラリー・3Fロビー
②四日市空襲と戦時下の暮らし	6月13日(土)～8月30日(日)	サルビニアギャラリー・3Fロビー
③四日市の焼物・萬古焼	10月17日(土)～12月6日(日)	サルビニアギャラリー
④むかしのくらし	12月19日(土)～3月22日(月・振休)	サルビニアギャラリー・3Fロビー 市民ギャラリー・2Fロビー

3 教育普及事業

(1) 「文学にであう」(一般対象、4回) テーマ：三重の文学者たち

講師：鈴鹿市文化財調査会会長 衣斐 弘行

日時：7月4日11日18日 8月22日(各回とも土)

申し込み者数 64人(延参加者 170人)

(2) 「子ども博物館教室」(再掲含)

①ワークショップ			参加者
5月23日	土	木とあそぼ!	18人
6月20日	土	四日市空襲のおはなしを聞こう	11人
7月18日	土	博物館を探検しよう!	26人

7月25日	土	きみもフェアブルだ	40人
9月26日	土	何でも包む魔法のふろしき？	10人
2月21日	日	めざせ一流デザイナー！！	43人

②むかし体験			参加者
1月17日 2月6日	日 土	暮らしの道具をつかってみよう	13人 6人
1月24日 2月20日	日 土	昭和っ子のあそびをしよう	43人 33人
1月30日 2月27日	土 土	おやつをつくろう	10人 6人

③古代米づくりと土器づくり			申込者 30人	参加者 30人	延参加者 384人
5月9日	土	田植え			
6月6日	土	土器づくり			
7月11日	土	田の草取り			
8月8日	土	土器の野焼き			
10月10日	土	石包丁で稲刈り			
10月31日	土	たて杵と臼で脱穀			
11月21日	土	土器で炊飯			

(3) ミュージアムセミナー

月 日	演 題	講 師	参加者
10月17日(土)	江戸時代の設計者 藤堂高虎	藤田 達生	21人
12月12日(土)	壬申の乱と四日市	山中 章	88人
2月13日(土)	斎宮と妖(あや)かしの時代	榎村 寛之	32人

(4) ミュージアム体験

月 日	内 容	講 師	参加者
6月20日(土)	世界に一匹、自分だけの昆虫を作ろう	石田 昇三	21人
9月12日(土)	ふろシックで、シックな暮らしをしませんか	鈴木田 美知子	18人
11月7日(土)	萬古焼に挑戦	野口 裕	2人
12月19日(土)	古代土器復元体験	清水 政宏 (社会教育課)	19人

(5) 博物館実習(大学生・大学院生対象)

博物館学芸員の業務のみならず、館でおこなわれるさまざまな業務について実習や講義をおこなった。特に今年度は実習生によるミニ展示「知られざる四日市の面影」展を、市民ギャラリーにおいて開催した。

7月28日(火)～7月31日(金)

共通実習

8月1日(土)～8月30日(日)

個別実習(2日程度)

受講生 27人 (17大学)

京都女子大学 1人 愛知淑徳大学 3人 名古屋学芸大学 2人 立命館大学 2人
 愛知学院大学 2人 金城学院大学 2人 京都府立大学 2人 皇學館大学 2人
 愛知県立芸術大学 1人 名古屋造形大学 1人 東海学園大学 1人 専修大学 1人
 中部大学 1人 名古屋女子大学 1人 名古屋芸術大学 1人 三重大学 3人
 八洲学園大学 1人

7月28日(火)	9:00～ 館長挨拶、 日程説明、 自己紹介	9:35～ 四日市市立博 物館の使命と 地域・社会貢献 (講義)	10:15～ バックヤード 見学(実習)	13:00～ ミュージアムショッ プPOP制作(実習)	15:00～ 展覧会のつくりか た(講義・実習)
7月29日(水)	9:00～ 展示台の整理(実習)			13:00～ 教育普及事業につい て(講義)	15:00～ チラシ・キャプシ ョンの制作(実習)
7月30日(木)	9:00～ 科学教室キット制作(実習)			13:00～ 博物館資料の扱い方 (実習)	15:30～ チラシ・キャプシ ョンの制作(実習)
7月31日(金)	9:00～ 展示作業				16:10～ 博物館の経営 (講義)、副館 長あいさつ
個別実習	展覧会の会場係、聞き取りアンケート、資料整理 等 (8月30日まで)				
課題	実習展示「知られざる四日市の面影」の展示作業				

(6) 教員のための体験的博物館研修 (受講生 13人)

8月19日(水)博物館の活動をよりよく知ってもらうために体験を豊富に盛り込んだ研修会を行い、博物館がどのように学習に活用できるかを紹介し、学校との連携を深める機会とした。

(7) 中学生の職場体験

総合的な学習の時間の一環として行われる職業体験学習に地元地域にある施設として支援・協力し、学校との連携を深める機会となった。

期 間	日 数	学 校 名	参 加 人 数
6月10日(水) ～ 6月12日(金)	3日間	常磐中学校	男子3名 女子1名 計4名
9月29日(火) ～ 10月1日(木)	3日間	中部中学校	男子3名 女子0名 計3名
9月29日(火) ～ 10月1日(木)	3日間	南中学校	男子1名 女子1名 計2名
11月11日(水) ～ 11月13日(金)	3日間	桜中学校	男子2名 女子2名 計4名
11月17日(火) ～ 11月18日(水)	2日間	楠中学校	男子2名 女子2名 計4名
11月18日(水) ～ 11月20日(金)	3日間	山手中学校	男子2名 女子0名 計2名
1月19日(火) ～ 1月21日(木)	3日間	塩浜中学校	男子0名 女子1名 計1名
1月27日(水) ～ 1月29日(金)	3日間	羽津中学校	男子2名 女子0名 計2名
1月27日(水) ～ 1月29日(金)	3日間	朝明中学校	男子2名 女子0名 計2名

2月2日(火) ~ 2月4日(木) 3日間	港中学校	男子3名 女子0名 計3名
	計	男子20名 女子7名 計27名

(8) 学習支援展示「むかしのくらし」学校見学の対応（小学校3年生対象）

学習支援ボランティア（登録者15人）

学校団体が学習支援展示の見学をする時や子ども博物館教室での子ども達の活動をサポートし、きめ細かい学習の支援を行った。

日時	学校名	人数	参加ボランティア
1月14日(木)	千種小学校	62	2名
1月15日(金)	県小学校	77	3名
1月19日(火)	浜田小学校	86	3名
1月20日(水)	大矢知小学校	170	2名
1月21日(木)	三重北小学校	59	3名
1月21日(木)	川越南小学校	73	3名
1月22日(金)	八郷西小学校	38	2名
1月22日(金)	西・東橋北小学校	36	2名
1月26日(火)	川越北小学校	72	3名
1月26日(火)	下野小学校	76	3名
1月26日(火)	暁小学校	66	2名
1月27日(水)	海蔵小学校	133	2名
1月28日(木)	川島小学校	134	2名
1月29日(金)	四郷小学校	76	3名
2月2日(火)	笹川東小学校	41	2名
2月3日(水)	保々小学校	91	3名
2月4日(木)	大谷台小学校	96	2名
2月5日(金)	泊山小学校	92	3名

日時	学校名	人数	参加ボランティア
2月9日(火)	神前小学校	57	3名
2月9日(火)	内部小学校	100	2名
2月10日(水)	桜小学校	87	2名
2月12日(金)	八郷小学校	89	3名
2月16日(火)	朝日小学校	107	2名
2月16日(火)	日永小学校	133	2名
2月17日(水)	三重小学校	74	2名
2月18日(木)	河原田小学校	36	1名
2月18日(木)	中部西小学校	51	1名
2月18日(木)	中央小学校	31	1名
2月19日(金)	治田小学校	38	2名
2月19日(金)	小山田小学校	35	1名
2月23日(火)	富田小学校	101	1名
2月24日(水)	高花平小学校	53	1名
2月25日(木)	羽津小学校	80	1名
2月25日(木)	白瀬小学校	20	1名
3月4日(木)	三重西小学校	67	1名
3月12日(金)	県立豊学校	7	1名
	計	2644	73名

(9) ボランティアの養成と協働

広く市民が博物館活動に参加する機会を提供するため、2年ごとに新たな登録を行った。21年度は、21・22年度活動メンバーの1年目となる。

博物館ボランティア登録者数 84人

学習支援ボランティア登録者数 15人 両ボランティア延べ活動者数 1067人

(10) 講座講師の派遣

地区市民センター等館外で行われる講演会等への講師派遣を実施している。博物館の担うべき教育普及機能としての活動、市民の学習意欲を高めるための活動、また、博物館に親しんでもらうための活動として積極的に対応しているところである。

月日	演題	主催者	参加者
5月11日	伊勢の神宮と参宮	日永郷土史研究会	45人
5月15日	煩惱の文学 丹羽文雄	三重女性退職校長会	85人
8月7日	江戸時代の東海道四日市宿界限	ときわのまちを考える会	22人
8月26日	近代四日市の鉄道	保々地区学童保育所	35人
10月16日	四日市のライト兄弟	文化国際課「市民大学一般クラス」	70人

	玉井清太郎・藤一郎		
10月17日	四日市港の歴史	港管理組合「港サポーター養成講座」	10人
11月6日	鎌井松石の人と業績	小山田地区郷土史愛好会	40人
11月12日	丹羽文雄	文化国際課「市民大学熟年クラス」	80人
11月14日	四日市港の歴史（現地学習）	港管理組合「港サポーター養成講座」	15人
12月11日	東海道と四日市宿（萱生町集会所）	八郷地区連合社会福祉協議会	20人
12月11日	東海道と四日市宿（八郷センター）	八郷地区連合社会福祉協議会	50人
2月23日	東海道と四日市宿	滴の会	22人

4 資料収集保存事業

- (1) 博物館の諸活動のなかで、最も基本となる活動として、各資料の収集を図り、その保存に努めた。
- (2) 収蔵庫燻蒸 9月4日(金)～9月8日(火)＜この間、臨時休館＞
収蔵庫資料を黴、虫の被害から守るために毎年実施。
- (3) 資料の状況 平成22年3月末現在

	区 分	実物・標本	模写模型
1 人 文 科 学 資 料	(1)考古	896	29
	(2)美術工芸	2,543	10
	(3)民俗	3,809	10
	(4)歴史	7,868	37
	(5)文学	4,568	0
	計	19,684	86

	区 分	実物標本	模写模型
2 自 然 科 学 資 料	(1)動物資料	0	0
	(2)植物資料	3,272	0
	(3)地学資料	93	2
	(4)理工学資料	0	0
	(5)天文資料	7	0
	(6)その他	0	1
計	3,372	3	

(4)新収蔵資料 購入資料

番号	資料名・作者等	分野	点数	年月日
1	上海老原村文書（写）・引札四日市赤堀加藤氏・引札 四日市新町北岡薬舗・新築竣工記念舞踊会誌・天元養気円 河村古僊・築港の偉傑 稲葉三右衛門・将棋貫珠 河村古僊・歴史地理三重県唱歌・勢陽雑記・お伊勢詣り資料目録・三重県地理教科書	歴史	11点	平成 21/08/07
2	天春家文書（一式）		708点	平成 21/10/02
3	伊勢国誌	歴史	1点	平成 21/10/09
4	四日市製紙 絵はがき	歴史	6点	平成 21/12/18

5	田村泰次郎草稿「志賀直哉」・田村泰次郎色紙「熱国の旅路のをわり巨き虹」	歴史	2点	平成 22/01/14
6	三重県伊勢国朝明郡西村絵図	歴史	11点	平成 22/01/16
7	浮世絵「東海道五十三次 亀山」(重宣 二代広重)・浮世絵「坂ノ下」(北斎)・浮世絵「関」(北斎)	美術工芸	3点	平成 22/01/21
8	狂歌入東海道 亀山(広重)・狂歌入東海道 石薬師(広重)・五十三次 石薬師(広重)	美術工芸	3点	平成 22/02/05
9	多度宝鑑・会誌 四日市高等女学校校友会・しほはま 塩浜高小 第8号・御大典記念 四日市銀行編	歴史	4点	平成 22/02/05
10	田村泰次郎葉書	歴史	2点	平成 22/02/07
11	東海道五十三次 関(重宣・二代広重)・東海道五十三次 庄野(重宣・二代広重)・東海道五十三次 石薬師(重宣・二代広重)	美術工芸	3点	平成 22/02/18
12	東海道五十三次之内 桑名・四日市(三代豊国)・東海道五十三次之内 亀山・関(三代豊国)・東海道五十三次之内 坂の下・土山(三代豊国)・清書七伊路盤 弥次郎兵衛喜多八(三代豊国)	美術工芸	4点	平成 22/03/04
13	桑府名勝志	歴史	1点	平成 22/03/16
14	四日市駅前梅戸間自動車運転開始広告	歴史	1点	平成 22/03/22
15	三重県東日野共興学舎	歴史	1点	平成 22/03/22
16	丹羽文雄はがき 中河与一宛	歴史	1点	平成 22/03/25

寄贈資料

番号	資料名	分野	点数	年月日
1	丹羽文雄書簡(3点)・丹羽文雄喪中はがき・文学者 No.119・しあわせの鐘	歴史	6点	平成21/04/01
2	双六ゲーム(2点)・ピストル型ライト・ふーせんガム(5点)・ぺんてるホームランパス・組み立て飛行機・オートバイのおもちや(2点)・マスコット(23点)	民俗	35点	平成21/04/03
3	古川町鯨船権現丸船体横幕	民俗	1対	平成21/04/30
4	碑 第92号	歴史	1点	平成21/05/07
5	五嶋製糸場関係資料(写真89枚・絵葉書22枚・製糸ラベル3枚)	歴史	1点	平成21/05/15
6	国産振興 四日市大博覧会案内・新興の四日市・国産振興 四日市大博覧会全景	歴史	3点	平成21/05/27
7	四日市遺跡地図・三重県遺跡地図・中南勢開発地域遺跡地図	考古	3点	平成21/05/29
8	映画ポスター「新 女・女・女物語」	歴史	1点	平成21/05/30
9	伊藤製糸場全景図	歴史	1点	平成21/06/03
10	水沢村公印(13点)・保々村公印(11点)・三重村公印(3点)・川島村公印(2点)・四郷村公印・小山田村公印・大矢知村公印・県村公印・神前村公印・桜村公印・下野村公	歴史	38点	平成21/07/01

	印・河原田村公印・三鈴中学校公印			
11	歴史ゼミナール四日市 設立20周年記念シンポジウム 資料	歴史	5点	平成21/08/25
12	写真「大型爆弾投下の瞬間」	歴史	1点	平成21/08/27
13	風呂敷(大正～昭和初期2点・戦前1点・30年～40年前1点)	民俗	4点	平成21/10/12
14	回顧乃木将軍・画報近代百年史・皇太子殿下良子女王殿下御略歴・大日本県別地図並地名大鑑	歴史	4点	平成21/10/15
15	1961年カレンダー・ちゃぶ台・つい立て・座卓・電気アンカ・テレビ台・郵便切手(33点)・収入印紙(44点)・森永ドライミルク 販促用風鈴・エスエス製菓 販促用うさぎ(5点)・真空管ラジオ・洗面器・提灯・御神燈 提灯・ベビーパウダー(3点)・てぬぐい・のれん・卓上掛・ネオンブライト・カイロ・ワイパア 蚊とり線香(2点)・台付十能・柄杓・天ぷら箸・十能・お玉・柄杓・陶枕・マッチ箱(5点)・下駄・月姫サイダー(14点)・アサヒナミサイダー・キリンレモン・三羽鶴サイダー・三ツ矢サイダー・ラムロサイダー・カゴメソース・錠剤の百草(3点)・山下清 絵皿・オロナイン浣腸(2点)・キーメントエース(2点)・胃腸良薬 アイフ・注射器・将棋の駒・置時計・ピョンちゃんのくすりばこ・両手なべ・食卓カバー・蛍光灯・電気炊飯器・花生け・セカンドバッグ・手さげバッグ・シヨルダーバッグ・文箱・前掛け・郵便はがき(48点)・ペーパークラフト グレラン製菓販促品(20点)・ブロマイド(4点)・お好みブロマイド25人衆(25点)・鉛筆(19点)・食卓テーブル・ピーコック蓄音器針広告・懐中電灯・折りたたみナイフ・レコード針・先割スプーン(3点)・キャンピングナイフ・ボールペン・南京錠・レアチン・福祿寿・シガレットケース・コンセント・メガネ・プラスチックコップ(2点)・ピクニッククーラー(3点)・サントリービール特製ピルスナー(3点)・サッポロビールグラス(3点)・ジョッキ(2点)・グラス(3点)・キリンビールグラス(6点)・ニューヨークタンブラー(12点)・牛乳石鹸(5点)・はてなき旅・返討崇禅寺馬場 一 二・返討崇禅寺馬場 三四・茶釜・手カギ	民俗	335点	平成21/10/21
16	戦争関係資料 入営を祝う提灯(2点)・水筒・学校教練必携 前篇・戦時学徒必携・陸軍喇叭譜・作戦要務令附録其ノ一 軍隊符号・教練号令命令図例及主要着眼点・作戦要務令に拠ル歩哨斥候ノ参考・作戦要務令 綱領総則及第一部・陸軍礼式令同附録・戦陣訓・軍隊内務令・歩兵操典・作戦要務令第二部・分隊長の要領・梱包積載教範・歩兵操典・助教助手の要領・軍隊衛生学・輜重兵操典・軍隊手蝶・複写便箋・スタンプ帳	歴史	24点	平成21/10/21
17	戦前戦中の書籍・教科書等 婦人衛生宝典・新制 中学終身書 巻五・新制 公民科教本 上巻・新制 公民科教本 下巻・試験によく出る 和文英訳 正しき訳し方・最新愛知県詳細地図・帝国府県地図 最新愛知県・テレパカルト 教案XX(20)・テレパカルト 教案XIX(19)・常用 法律語解説・勅諭(謹釈)・古銭(477点) 他	歴史	503点	平成21/10/21
18	木臼・杵・白黒テレビ・ポータブルカセットプレーヤー(2点)・ガスストーブ(2点)・うちわ・噴霧器・ちり取	民俗	23点	平成21/10/22

	り・フライパン (2点) ・ガス炊飯器・ろうじ(3点) ・扇風機・ファンヒーター・黒電話・ママタン・金魚鉢 (ビー玉入) ・ハエたたき・おひつ			
19	火のし・銅のたらい・バケツ・たらい (2点)	民俗	5点	平成21/10/24
20	四日市航空写真・日本分県地図・四日市社会福祉事業史・絵はがき・講和記念博覧会資料・天皇御一家写真等 (10点) ・修学旅行手牒・戦争中の農業関係資料一括・東京震災画報・大阪毎日新聞・世界の海軍・地図 (5点) ・任命書 委嘱状 (3点) ・戦後資料 (2点) ・戦争中の町内会資料 (5点) ・国民貯金通帳・生活物資購入通帳関係 (4点) ・身元調査1件照会・農商功績章・防空詰所当番日誌・支那事变画報・大政翼賛会関係 (11点) ・歳入歳出予算決算書・青年学校資料・労働者証関係 (2点) ・食糧管理局より委嘱状・勤儉実施規約・四日市図書館報 (3点) ・乃木大将写真・俳優見立大番附・日本銀行券 (1,000円6枚・100円2枚) 他	歴史	161点	平成21/10/24
21	伊藤桂一詩碑建立記念資料 一式	歴史	4点	平成21/11/10
22	三重県立四日市高等学校創立100周年YES DVD・三重県立四日市高等学校創立100周年記念ビデオ	歴史	2点	平成21/11/10
23	腥臑脂釉数印急須・手捻急須・蝙蝠文桃形鉢・数印急須・緑釉数印急須・芭蕉形平皿・友禅土瓶・型紙絵付急須・手捻急須・朝鮮写急須・白土無文土瓶・白土和歌入八角急須・白土無文六角急須・狸摘手捻急須・教育勅語入急須・七福神面土瓶・山水文急須・草花文角菱土瓶・草花文土瓶・金彩人物図八角急須・菊鶴富士文袋形急須・茶器一式 (湯冷まし1客 湯呑4客) ・縮緬無文五角急須・赤土方品・縮緬無文五角急須・松蟬文手焙・茶碗・蝸牛文手焙・亀置物・菊孔雀文土瓶・菊鶏文土瓶・鶏文土瓶・数印急須・金彩蝶孔雀文急須・松鶴文方品・輪花蓋物・金彩虎童子文急須・花鳥文袋形急須・梅数印急須・竹数印急須・旭日鶴文数印急須・白土数印急須	美術工芸	42点	平成21/11/24
24	滑車・井戸の道具・蓑	民俗	3点	平成21/12/09
25	週刊朝日 (1975年9月19日号)	歴史	1点	平成21/12/10
26	衣類 (2点) ・グルービーケース・釜飯の容器・ざる (6点) ・お盆 (10点) ・VANかべかけ・木製ハンガー・目覚し時計・菓子器 (4点) ・2穴パンチ・状差し・フライ返し (2点) ・トング・牛乳びんオープナー (2点) ・折りたたみナイフ・フォーク・せんぬき (10点) ・洋皿 (3点) ・湯呑み (5点) ・すりこぎ・はさみ	民俗	56点	平成21/12/19
27	みえ国体グッズ (3点) ・帰休記念の酒杯 (2点)	歴史	5点	平成21/12/19
28	セルロイドの筆箱	民俗	1点	平成21/12/22
29	週刊文春 (昭和40年4月26日号)	歴史	1点	平成21/12/27
30	計算尺	民俗	1点	平成22/01/05
31	富山広貫堂 置き薬箱・持ち手付グラス (5客) ・洋皿 (3枚)	民俗	3点	平成22/01/06
32	キャラクター鉛筆 (3本) ・キャラクターつめ切り	民俗	2点	平成22/01/11
33	中学1年 国語教科書 (昭和57年)	歴史	1点	平成22/02/13
34	菜箸	民俗	1点	平成22/02/19
35	ペコちゃん絵本 (2点) ・日光写真 (3点) ・シチズン英会話トランプ・小倉百人一首・ぺんてるえのぐ・観世流小謡集・観世流特製一番本「高砂」	歴史	10点	平成22/02/25

36	せんぬき (みえ国体記念 四日市市) ・つけ木 (6点)	歴史	7点	平成22/03/02
37	扇風機	民俗	1点	平成22/03/05
38	第30回国民体育大会 (みえ国体) 関連資料 半そでユニフォーム上下・報告書・実施概要・スローガン (2点) ・紙ふうとう・ゴミ袋・マッチ (5点) ・徽章・名札・小旗・全国高校総体てぬぐい	歴史	16点	平成22/03/25
39	現代女子商業教本・尋常小学理科書・尋常小学算術 (2点) ・尋常小学唱歌 (2点) ・ノート・日本赤十字社 社員証・帝国義勇艦隊建設義金 徽章贈与証・愛国婦人会通常会員証・日本海員掖済会通常会員証・日本海員掖済会終身会員証	歴史	12点	平成22/03/26
40	そろばん (天2珠 地5珠) ・ラジコン ホバークラフト	歴史	2点	平成22/03/28

5 調査研究事業

(1)

学芸員の博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的研究をはじめさまざまな豊富な知識を享受し、特別展示の開催等、多くの事業に資するため、各種情報の収集に努めつつ、調査研究活動を行っている。今後も常設展示・特別展示等の充実、教育普及事業の活発化、各専門分野における自己研鑽に努めつつ、他の博物館や公共機関等の調査研究活動への協力、資料収集、展示等への技術的指導と助言・援助、また、いろいろな施設で開催される各種の講演会等への講師派遣などで成果の還元を図っている。

そのため、館及び分野ごとの共通テーマに基づいた年度ごとの課題調査、学芸員個別の研究テーマによる調査、特別展・企画展に向けた事前の調査を柱として、博物館の諸活動を支える基礎的活動として活発に展開していきたいと考えている。

課題調査

「市内所在資料・コレクション等調査」

「次年度以降特別展企画展調査」

「昭和のくらし調査」

「田村泰次郎調査」

「館通因調査」

「市内仏教美術調査」

教育普及事業 (ワークショップ・学習支援展示) 調査

(2) 館蔵史料の翻刻作業

昨年度に引き続き、「清水本陣文書」の翻刻作業を進めた。2チーム(古文書ボランティア)に分けて月2回ずつ、当館にて活動し、その成果については今後発表していく予定である。

古文書ボランティア登録者数 33人

(3) 入館者調査

今後の博物館のあり方や、企画、運営等に資するため、各企画展・特別展ごとに「入館者アンケート」を実施し、入館者の情報分析を実施。市民、利用者側のニーズの把握に努めた。

(4) 広報活動

企画展・特別展をはじめとする各事業の広報は、市広報の活用はもちろん、タウン誌・各報道機関への情報提供 (記者発表・資料提供等)、生涯学習・学校教育機関、地区市民センターその他公共施設及び商業施設へのポスター・チラシの配布・掲示を中心に行った。また、テレビ等への視聴者サービスを行うなど、多角的に取り組んだ。ホームページについては、タイムリーでわかりやすい情報提供を目指した。

2 プラネタリウム投映事業

1 天文展示

テーマ「宇宙観 5000 年の歴史」、天体写真、隕石等を展示。また、映像コーナーでは、タッチパネル機器「スペース・シミュレーション」を設置、「太陽系の旅 (NHK)」、「偉人たちの夢～ガリレオ・ガリレイ～ (サイエンスチャンネル)」を常設モニターにてビデオ放映した。さらに、番組に合わせて、「ガリレオが製作した望遠鏡のレプリカ」、「御在所岳の四季を撮影した写真展」、「葉っぱのフレディ書籍」、「ペンシルロケット等の展示」、「銀河鉄道 999 切抜きポップ」、「月のクイズ」などを展示した。

2 投映活動

季節番組を2種類（家族向けと一般向け）に分けての投映方式を継続・充実させた。一般向け3番組のうち2番組を自主企画で制作し、50分間のフルライブ解説とした。また、通年番組として好評であった、星空をゆっくりと楽しむ星座神話番組「神話の星めぐり」を、毎月季節の星座や代表する星座の神話などを、内容を替えてライブ解説した。また、聴覚障害者にも配慮した字幕付き投映、園児や児童を対象とした学習投映なども実施した。

投映時間と番組

	10:30～	13:20～	14:40～	16:00～
平日	(学校園団体利用)	一般向け番組	星座神話番組	
土曜日・学校園長期 休暇期間の平日	家族向け番組	家族向け番組	一般向け番組	星座神話番組
日曜日・祝日・学校園 長期休暇期間の土日	家族向け番組	家族向け番組	一般向け番組	家族向け番組

(1) 季節番組 (料金: 一般 530 円 高・大生 370 円 小・中生 200 円)

	番組名 / 投映期間	投映回数	入場者
冬春番組	一般向け番組「ガリレオーその時地球が動いたー」 1月31日(土)～5月31日(日) 97日間	90回	1,428人
	うち平成21年度分(4/1～5/31) 49日間	45回	736人
	家族向け番組「はだかのおうさま月へいく」 1月31日(土)～5月31日(日) 48日間	114回	2,929人
	うち平成21年度分(4/4～5/31) 25日間	57回	1,335人
夏番組	一般向け番組「なるほど! ザ・太陽」 6月6日(土)～9月27日(日) 91日間	91回	7,140人
	家族向け番組「忍たま乱太郎～天狗の秘密と消えた太陽の段」 6月6日(土)～9月27日(日) 59日間	143回	7,595人
秋冬番組	一般向け番組「葉っぱのフレディ」 10月3日(土)～平成22年1月31日(日) 90日間	83回	1,421人
	家族向け番組「銀河鉄道999～星空はタイムマシン/太陽系恐竜絶滅篇～」 10月3日(土)～平成22年1月31日(日) 44日間	108回	2,666人
冬春番組	一般向け番組「宇宙への挑戦ー日本のロケット開発ー」 平成22年2月6日(土)～5月30日(日) 91日間	79回	773人
	うち平成21年度分(2/6～3/31) 43日間	39回	442人
	家族向け番組「まじめにふまじめかいけつゾロリ 宇宙たんけん大さくせん おうごんの星をさがせ! 編」 平成22年2月6日(土)～5月30日(日) 45日間	113回	3,764人
	うち平成21年度分(2/6～3/31) 21日間	52回	1,963人

星座神話番組	4月、5月「かみのけ座」、6月「てんびん座」、7月「さそり座」、8月「いて座」、9月「やぎ座」、10月「みずがめ座」、11月「うお座」、12月「おひつじ座」、1月「おうし座」、2月「ふたご座」、3月「かに座」 194日間	180回	2,008人
合計	一般向け番組のみ (H21年度分)	258回	9,739人
	家族向け番組のみ (H21年度分)	360回	13,559人
	H21年度の季節番組 (一般向け+家族向け+星座神話)	798回	25,306人

※星座神話番組は、4月～5月は2ヶ月に1度、6月以降は毎月星座を変えて実施した。
また、一般向けの各番組ごとに試写会を実施し、また、家族向け、一般向け番組について1回ずつ字幕付放映を実施した(星座神話番組を除く)。
赤外線補聴装置を常設。

春番組 「ガリレオ—その時地球は動いた—」

2009年は、イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが望遠鏡を宇宙に向けてからちょうど400年目の年であった。そして、世界天文年と定められ全世界で様々な天文普及活動が行なわれる中、本番組も世界天文年の公認イベントとして取り組んだ。当時ガリレオは、ヨーロッパ思想を支配し続けてきたアリストテレスの伝統を、実験などを用いた新たな方法で、科学へと変えていった。そのいくつかの実験を紹介し、「近代科学の父」と言われたガリレオの生涯と業績をわかりやすく解説した。

また、世界天文年の目的である、宇宙の中の地球や人間の存在に思いを馳せ、自分なりの発見をしてもらうことができるように、歴史と共に広がってきた宇宙観や天動説から地動説への変遷について解説した。アンケートからは、「ただ、知識として伝えるだけでなく、見ている人自身が感じて考えて欲しいという館のメッセージが伝わってきた。」という声も頂いた。また、番組で利用したBGMも、その時代に合わせた選曲が好評であった。今後も、自主制作の強みを最大限に発揮できるような番組作りを心がけていきたい。(天文係 加藤正之)



春番組 「はだかのおうさま 月へいく」

主にスライド投映機を使い、誰もが知っている童話「はだかのおうさま」をプラネタリウム向けにアレンジした番組。「信じる」ということをテーマに、お馴染みのストーリーに地球は丸いことや月の表面などの天文知識を子供向けにうまく取り入れ、非常に親しみやすい番組であった。観覧者からも「子供と一緒に楽しめました」「地球の自転について楽しく学べました」などの感想を多く頂いた。また、最近プロジェクターを使ったデジタルでの放映が増えてきているが、星空のなかで映像を楽しめるというスライド番組ならではの良さも再認識した。(天文係 松尾朋子)

夏番組 「なるほど！ザ・太陽」

日本では46年ぶりとなる「皆既日食」が起こる時期に合わせて自主制作した番組。本州からでは皆既日食は見られず、実際に見られるのは部分日食ではあったが、当日7月22日が近づくにつれて全国的に大きく報道されたこともあり、番組も次第に観覧者を伸ばしていった。実際に日食を安全に楽しんでもらうため、観覧者先着500人に、職員手作りの「日食グラス」を配布するという試みを行った。四日市のキャラクター「こにゅうどうくん」の顔をデザインした日食グラスは好評を博し、またたく間に配布予定数を終了した。さらに追加生産を行うことで、観覧者の希望に応えることができた。その後さらに



報道が過熱し、日食グラスの入手が全国的に不可能になるという事態が起こるほど、日食への注目が高まっていた。

番組では、日食の起こる仕組みや太陽の不思議について映像やクイズを用いて紹介し、小中学生からもわかりやすいと好評であった。また、皆既日食の際に観察可能な「コロナ」の謎を紹介すると、観覧者からは驚きの声があがるなど、高い関心をもって観覧されている様子が印象的だった。日食の安全な観察方法、太陽観測衛星「ひので」の紹介も行い、多角的に日食を紹介したことも評価をいただいた。最後に、奄美大島で見られる当日の皆既日食を、全天周映像を使って投映し、皆既日食の過程を体験してもらった。皆既日食ツアーが高騰していたこともあり、四日市にいながらにして皆既日食を体験できてよかった、との声を多数いただいた。

さらに、2学期に行う移動式プラネタリウムでの連携授業を実施する中学校（23校）へは、事前学習としてプラネタリウムを観覧してもらうために、学習参加券を配布した。その結果、中学生だけで2,200名を超える参加者があった。また合計観覧者数が7,140名となり、一般向け番組の夏番組としては過去最高の観覧者数となった。（天文係 須藤悠愛）

夏番組 「忍たま乱太郎～天狗の秘密と消えた太陽の段～」

一般向け番組と同様、皆既日食にあわせて投映した。幼児から家族と一緒に楽しみながら日食を学べる番組として好評だった。特に、子どもたちがテレビで慣れ親しんだ「忍たま乱太郎」は好感度が高く、キャラクターが解説することで、全く知らなかった日食についてよくわかったのがうれしい、といった声がアンケートでも多く聞かれた。また、番組前の星座解説も「わかりやすい」「本当の空で星座を探したい」と好評だった。家族向け番組は、星に興味を持つ前の子どもたちへの、星空への入り口といった重要な役割があると再認識した。今後も、天文現象にあわせた時事性を持たせつつ、番組を選定していきたい。（天文係 須藤悠愛）

秋冬番組 「葉っぱのフレディ 生命の星のものがたり」

プラネタリウム番組を制作するメーカーからの配給作品である。番組は、画像や映像の美しさを重視するために、スライドとデジタルの映像を高コントラストのプロジェクターを使用して映すという当館オリジナルの構成とし、博物館職員にてプログラミングおよびスライドの装填作業を行なった。ベストセラー絵本を題材にした認知度の高い作品であり、「いのち」をテーマにした教育的配慮の高いストーリーが好評であった。葉っぱの一生と星の一生をリンクさせ、命はつながっているという内容が小さな子どもにもわかりやすく説明されていた。一方、アンケートからは「もっと星の一生の話が聞きたかった」という意見もあり、プラネタリウムの特徴をもう少し生かす演出であればよかったと感じた。その他、番組に合わせて写真展「鈴鹿山系のフレディたちー葉っぱのフレディ いのちの旅よりー」を開催した。身近にある自然の移り変わりやいのちの輝きを感じる写真の展示をすることで、番組のPRに努めた。（天文係 加藤正之）



秋冬番組 「銀河鉄道 999 星空はタイムマシン/太陽系恐竜絶滅篇」

松本零士原作「銀河鉄道 999」の、プラネタリウム全天周デジタル映像作品。平成 18 年度に投映した「銀河鉄道 999ー消えた太陽系ー」以来の銀河鉄道 999 シリーズ。今回の番組は、全天周のデジタル番組で、プロジェクターを使い投映した。博物館を訪れた主人公がジュラという少女に出会い、彼女を追って 999 号で宇宙に出発する、時空を超えた冒険物語で、恐竜絶滅の原因と考えられる巨大隕石の衝突や、木星、木星の衛星エウロパはどのような星かといった天文知識を、ストーリーにうまく取り入れた番組であった。特に、主人公や 999 号が木星の重力に引き寄せられる場面や、崩壊寸前のタイタンの海から脱出する場面は、全天周映像ということもあり自分が体験しているような緊迫した感覚を味わうことができ、木星の重力の強さや氷で覆われたタイタンを印象深く学ぶことができた。ただ、激しく動く映像に酔ってしまった観覧者も見受けられ、後方の席に誘導するアナウンスをしたり、期間中映像を何度も修正するなどして対処した。家族向けとしての投映であったが、子供連れでない大人の方も多く、

銀河鉄道 999 ファンの年齢層の厚さを感じた。また、観覧者からは「映像がきれいだった」「本当に 999 号に乗っているようだった」「続きが見たい」などの感想を頂いた。映像、迫力、ストーリーと三拍子そろった印象深い番組であった。

その他、番組に関連して、博物館の入り口付近には登場人物の等身大パネルや垂れ幕を設置するなど、エントランスの雰囲気作りにも力を入れた。来館の記念にパネルと写真を撮る観覧者の姿も見受けられ、喜ばれていたようだ。今後も番組関連の展示は必要だと感じた。(天文係 松尾朋子)

星座神話番組 「神話の星めぐり」 12 星座編

前年度に続く、星空と神話をじっくりと楽しむ番組。プラネタリウムの原点ともいえる内容で、毎年のアンケートでも安定した評価を受けている。今年度は、誕生日の星座として親しまれている 12 星座を特集して紹介した。「自分の星座を夜空で探したい」という方や、神話の物語を楽しみに来館される方も多し。アンケートで人気の高いコーナー「誕生日の星空再現」も継続して実施した。誕生月に来館された方の中から一名に、生まれた日の星空を再現して紹介するコーナーである。今年で実施 5 年目を迎え、観覧者の方にも「自分の生まれた日の星空が見られる番組」としてすっかり定着したようだ。記念にするため、誕生日当日に来館される方や、昨年見たけれどもう一度見たいという方、さらに子どもの生まれた日の星空を見せてやりたいという保護者の方など、思い思いに自分だけの星空を楽しんでいられる様子は、解説者として本当にうれしいものである。来年度は、これまでに取り上げることがない星座のなかから見つけやすく、かつ面白い神話をもつ星座の特集を企画している。これからも、来館者に望まれ、親しまれる番組として制作を続けていきたい。(天文係 須藤悠愛)

(2) 学習投映（保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体利用）

投映：平日①10:00～、②11:00～

季節の星座を中心に年齢・学年に応じた、生解説による双方向型の学習用プラネタリウム投映
投映回数 135 回、入場者数 210 団体（10,868 人）

月	テーマ	校 園	入 場 者	
4 月～5 月	保 幼	星座動物園へようこそ	0 園	0 人
	小 学	土星クイズに挑戦！	4 校	43 人
	中 学	惑星クイズに挑戦！	0 校	0 人
	その他		0 校	0 人
6 月～7 月	保 幼	七夕物語	80 園	3,384 人
	小 学	星座早見盤の使い方と夏の大三角	6 校	498 人
	中 学	太陽の動きと日食または金星	1 校	10 人
	その他	七夕物語	2 校	36 人
9 月～10 月	保 幼	お月さまのお話	3 園	203 人
	小 学	月の動き、月の満ち欠け	30 校	1,803 人
	中 学	天の川は銀河系	0 校	0 人
	その他		2 校	20 人
11 月～12 月	保 幼	アンドロメダ姫物語	7 園	261 人
	小 学	月の動き、月の満ち欠け	23 校	1,673 人
	中 学	星の一生、金星の動き	4 校	18 人
	その他		1 校	9 人
平成 22 年 1 月～3 月	保 幼	うたのプラネタリウム	18 園	1,002 人
	小 学	冬の大三角と星の色	26 校	1,853 人
	中 学	南半球で見るオリオン座	0 校	0 人
	その他		3 校	55 人

(3) 特別番組

① 「宇宙塾～天文^{がく}しませんか?～」

土曜日 16:30～18:00 料金:800円

市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年4回実施した。天文学最前線で活躍中のゲストを迎えて、最新の話題や実験質問コーナーをおりませた、プラネタリウム特別版。

月 日	テーマ / 講師	入場者
第37回 5月6日	ガリレオのおもしろ実験教室 三浦 伸夫 (神戸大学大学院教授)	94人
第38回 7月18日	日食の謎に迫る 浅田 英夫 (天文研究家)	157人
第39回 11月28日	赤外線宇宙を探る! 佐藤 修二 (名古屋大学名誉教授)	58人
第40回 2月20日	宇宙農学のススメ 山下 雅道 (宇宙航空研究開発機構教授)	60人

※宇宙塾は、教員研修を兼ねている。

② 生演奏コンサート

金曜日 19:00～20:30 料金:1,200円 (前売制)

月 日	テーマ/出演者	入場者
6月26日	七夕コンサート/ピッコロバイオリン	152人
10月3日	お月見コンサート/チェンバロ	128人
12月18日	クリスマスコンサート/マリンバアンサンブル	151人

③ CDコンサート

金曜日 19:00～20:00 料金:600円 (前売制)

月 日	テーマ	入場者
5月22日	初夏の星空と「11年目のaiko特集」	90人
8月7日	真夏の星空と「B'z特集」第1部	106人
8月8日	真夏の星空と「B'z特集」第2部	151人
10月30日	秋の星空と「エンヤ特集」	107人
平成22年3月5日	早春の星空と「桜ソング特集」	62人

※ 8月7日、8日の内容は同じ。

④ ゴールデンウィークリバイバル放映

5月2日(土)～6日(祝・水)の10:30～11:30

料金:一般530円 高・大生370円 小・中生200円

宮沢賢治「銀河鉄道の夜」 入場者320人

⑤ 皆既日食解説特別番組 料金:無料 申込制 (応募総数:1,253人)

7月22日(水)	集まれ!日食かんさつ隊1回目(8:20～8:50)	149人
	集まれ!日食かんさつ隊2回目(9:10～9:40)	147人

⑥ クリスマス特別放映

平成21年12月25日(金) 13:20～, 14:40～, 16:00～ (各回50分)

料金:一般530円 高・大生370円 小・中生200円

「アロマとクリスマスの北欧の風景とオーロラの映像」 入場者143人

(※10:30からの回は、「銀河鉄道999」を放映)

3 天文教育普及事業

(1) 子ども科学教室 (講師：天文係職員、天文ボランティア)

	月 日	科学工作	きらら号観望会
夏	8月16日(日)	550人	120人
冬	2月14日(日)	55人	100人

夏の工作内容：①虹色万華鏡 ②液体きらきら万華鏡 ③備長炭で鳴らす電子メロディー
④不思議コイルモーター ⑤ドライアイスロケット (5種類)

冬の工作内容：ペットボトルロケット (1種類)

(2) 天文教育研修会

教育センターと共催で、教員と市民を対象にプラネタリウムを利用した指導者研修会

月 日	時 間	内 容	場 所	参加者
5月6日(祝・水)	16:30~18:00	第37回 宇宙塾	博物館	5人
7月18日(土)	16:30~18:00	第38回 宇宙塾	博物館	8人
8月25日(火)	13:00~21:00	アウトドアセミナー②	少年自然の家	27人
11月28日(土)	16:30~18:00	第39回 宇宙塾	博物館	2人
2月20日(土)	16:30~18:00	第40回 宇宙塾	博物館	2人

※宇宙塾と兼ねて実施(参加者数は再掲である)。

※8月25日は、少年自然の家と共催で実施。

(3) 公開観望会

8月12日(水)	19:00~21:00	ペルセウス座流星群と 天の川観望会	星の広場	240人
8月13日(木)				70人
11月17日(火)	19:00~21:00	しし座流星群観望会	星の広場	雨天中止
12月13日(日)	18:00~20:00	ふたご座流星群観望会	星の広場	50人

(4) JST 地域活動支援事業「スペースキャンプ2009 ～ めざせ！ガリレオ博士 ～」(申込み制)

少年自然の家で、小中学生を対象に泊を伴い天文教室(ロボット工作)等を行う。

12月19・20日(土・日)	スペースキャンプ～めざせ！ガリレオ博士～	97人
----------------	----------------------	-----

(5) 御在所ロープウェイとの連携事業

「御在所スターツアーズ」御在所山上での観望会(申込み制)

1	8月1日(土)～2日(日)	山上レストランアゼリアにて1泊	雨天中止
2	9月20日(日)～21日(祝)	山上レストランアゼリアにて1泊	20人
3	3月20日(土)～21日(日)	山上レストランアゼリアにて1泊	雨天中止

(6) 学校連携・・・要請により市内及び三重郡の小中学校で実施

①中学生対象・・・移動式プラネタリウムを用いて星の日周運動と年周運動、北極・赤道での太陽の動き、金星の動きなどを解説。各学校の担当教諭と連携しながら授業をすすめる。

実施日・・・原則として11月中旬から1月中旬までの火・水・木・金曜日

実施校・・・市内18校、三重郡4校、その他1校(2,991人)

事前学習について・・・連携授業のための事前学習としてプラネタリウム夏番組を活用。学習参加券を配布し、夏休み期間中の来館を促す。

11月10日(火)	朝日中学校	62人	12月9日(水)	大池中学校	170人
11月11日(水)	富田中学校	105人	12月10日(木)	北勢きらら学園 (中学部)	21人
11月12日(木)	三重平中学校	77人	12月11日(金)	八風中学校	187人
11月18日(水)	川越中学校	132人	12月15日(火)	三滝中学校	116人
11月19日(木)	菰野中学校	233人	12月16日(水)	保々中学校	69人
11月20日(金)	常磐中学校	217人	12月17日(木)	朝明中学校	226人
11月26日(木)	西笹川中学校	101人	12月18日(金)	港中学校	82人
12月1日(火)	橋北中学校	中止	1月14日(木)	富洲原中学校	120人
12月2日(水)	羽津中学校	149人	1月15日(金)	楠中学校	110人
12月3日(木)	塩浜中学校	70人	1月19日(火)	笹川中学校	128人
12月4日(金)	西陵中学校	71人	1月22日(金)	西朝明中学校	108人
12月8日(火)	内部中学校	214人	1月26日(火)	南中学校	223人

※ 連携校のうち中部中学校のみ、移動式プラネタリウムではなく博物館のプラネタリウムでの学習を12月に実施。生徒数：115人

②小学生対象・・・3D投影機を用いて月の動き、国際宇宙ステーションとスペースシャトルの役割についてなどを解説。各学校の担当教諭と連携しながら授業をすすめる。

実施日・・・原則として9月中旬から10月下旬までの水・木・金曜日

実施校・・・市内17校、三重郡5校(1,650人)

9月16日(水)	東橋北小学校	14人	10月16日(金)	小山田小学校	40人
9月17日(木)	常磐小学校	133人	10月20日(火)	竹永小学校	72人
9月18日(金)	鶯川原小学校	53人	10月21日(水)	川島小学校	142人
9月24日(木)	三浜小学校	23人	10月22日(木)	内部小学校	103人
9月25日(金)	日永小学校	117人	10月23日(金)	中部西小学校	61人
10月6日(火)	八郷西小学校	41人	10月26日(月)	保々小学校	90人
10月7日(水)	中央小学校	32人	10月27日(火)	三重西小学校	72人
10月8日(木)	河原田小学校	42人	10月28日(水)	川越南小学校	77人
10月9日(金)	三重北小学校	57人	10月30日(金)	大矢知興譲小学校	126人
10月14日(水)	朝上小学校	116人	11月5日(木)	富田小学校	101人

10月15日(木)	笹川東小学校	45人	11月13日(金)	朝日小学校	93人
-----------	--------	-----	-----------	-------	-----

(7) いきいき出前講座等

- 7月14日(火) (四季の里あおぞらワーク 28人)
- 7月15日(水) (朝上小学校1～6年生 680人)
- 7月15日(水) (水沢病院 97人)
- 8月22日(土) (海蔵しぜんクラブ 10人)
- 11月20日(金) (市民大学 文化国際課 55人)
- 11月27日(金) (デイサービスさくらしんまち 15人)
- 12月1日(火) (四季の里あおぞらワーク 20人)
- 12月4日(金) (株式会社三重スレート 20人)
- 2月16日(火) (デイサービスさくらしんまち 15人)

(8) 移動天文車事業

天文ボランティア(39人)の協力を得て観望会を実施。
10月21日～3月31日までの観望会は、きらら号修理のため
小型望遠鏡にて実施。



① 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力を得て
観望会を行った。天候不順による観望会中止時で希望する団体
には、いきいき出前講座による天文教室を実施した。

稼働予定件数 48件(うち派遣回数28回、中止時の天文教室回数6回、
きらら号修理によるキャンセル3件)

参加者数 3,049人(うち中止時の天文教室参加者数 488人)

ボランティア数 延べ87人

② 主催事業

季節に見ごろの惑星などの観望会を、天文ボランティアの協力を得て市内各地で実施した。
対象は子どもから大人まで。

稼働予定件数 29件(うち実施回数21回)

参加者数 3,852人

ボランティア数 延べ106人

4月4日(土)	19:00～20:30	月と土星を見よう	市民公園	中止
4月5日(日)	19:00～20:30	月と土星を見よう	市民公園	70人
5月6日(祝・水)	19:00～20:30	月と土星を見よう	市民公園	中止
5月10日(日)	10:00～15:00	サンデー太陽観望会	四日市ドーム	500人
5月31日(日)	19:30～20:30	月と土星を見よう	桜地区運動広場	35人
6月7日(日)	19:30～20:30	月と土星を見よう	富双緑地公園	80人
6月21日(日)	13:00～15:00	サンデー太陽観望会	市民公園	中止
7月18日(土)	19:30～21:00	織姫(ベガ)を見よう	市民公園	中止
7月22日(水)	8:00～13:00	部分日食を見よう	市民公園	2,000人
8月2日(日)	15:00～18:30	サンデー太陽観望会	四日市港ポートビル	中止

8月 2日 (日)	19:00~21:00	月のクレーターを見よう	四日市港ポートビル	中止
8月 16日 (日)	19:00~20:30	木星を見よう	市民公園	120人
8月 26日 (水)	19:00~20:30	旧暦の七夕に星を見よう	市民公園	35人
10月 21日 (水)	19:00~20:30	木星とオリオン座流星群を見よう	伊坂ダム	80人
10月 23日 (金)	19:00~20:30	月と木星を見よう	市民公園	30人
11月 1日 (日)	10:00~15:00	サンデー太陽観望会	楠緑地公園	中止
11月 23日 (祝・月)	19:00~20:30	月と木星を見よう	パワーシティ四日市	27人
11月 28日 (土)	19:00~20:30	月と木星を見よう	市民公園	50人
12月 19日 (土)	19:30~20:30	スペースキャンプ	少年自然の家	104人
12月 26日 (土)	19:00~20:30	月と木星を見よう	パワーシティ四日市	36人
1月 23日 (土)	19:00~20:30	月と火星を見よう	ジャスコ四日市尾平店	180人
1月 28日 (木)	19:00~20:30	月と火星を見よう	ジャスコ四日市尾平店	20人
2月 11日 (祝・木)	19:00~20:30	月と火星を見よう	イオン四日市北店	中止
2月 14日 (日)	13:30~15:00	サンデー太陽観望会	市民公園	100人
2月 19日 (金)	19:00~20:30	月と火星を見よう	イオン四日市北店	120人
2月 20日 (土)	19:00~20:30	月と火星を見よう	市民公園	75人
3月 3日 (水)	18:15~19:35	ISS 臨時観望会	市民公園	80人
3月 19日 (金)	19:00~20:30	月と火星を見よう	日永カヨー	80人
3月 20日 (土)	19:00~20:30	月と火星を見よう	日永カヨー	30人

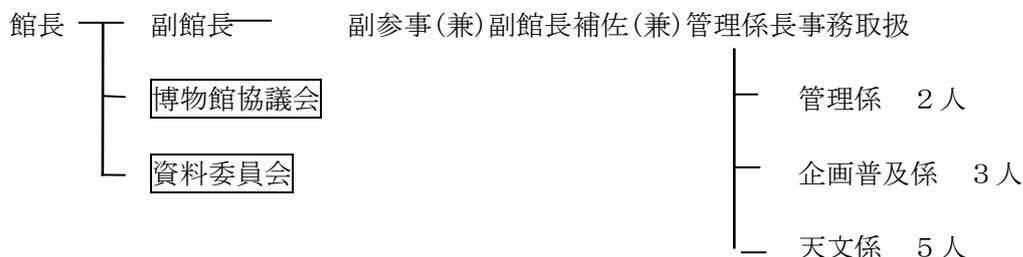
中止：天候不順のため

Ⅱ 管理・運営

1 組織

(1) 職員構成

(平成 22 年 3 月末現在)



(2) 事務分掌

[管理係]

- (1) 博物館事業の調整及び運営に関すること。
- (2) 調査、統計及び報告に関すること。
- (3) 博物館協議会に関すること。
- (4) 施設の維持管理及び館内の秩序維持に関すること。
- (5) 施設の使用許可に関すること。
- (6) 観覧券の発売及び入館者の受付、案内等に関すること。
- (7) 館の庶務に関すること。

[企画普及係]

- (1) 特別展示の企画及び開催に関すること。
- (2) 常設展示及び特別展示の利用者への説明、指導等に関すること。
- (3) 博物館資料の収集、保管、展示、貸出及び利用に関すること。
- (4) 博物館資料の調査研究及び報告書の刊行頒布等に関すること。
- (5) 講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。
- (6) 博物館資料の購入、受贈及び受託に関すること。
- (7) 博物館の広報に関すること。

[天文係]

- (1) プラネタリウムの映写及び天体観測に関すること。
- (2) 天文知識の普及及び啓発に関すること。
- (3) 天文資料の収集、保管、展示及び調査研究に関すること。
- (4) 移動天文車に関すること。

2 予算

平成 21 年度

[歳入]

(単位：千円)

科目			当初予算額
使用料及び手数料 使用料 教育使用料 社会教育使用料	博物館使用料	博物館観覧料 プラネタリウム観覧料 施設使用料 特殊器具使用料	14,185 8,442 3,446 1
財産収入 財産売払収入 物品売払収入 物品売払収入	市史等売払収入	図録等	2,150
諸収入 雑入 雑入 雑入	教育費雑入 各種講座受講料 広告料収入	博物館委託販売手数料 博物館事業費助成金 セミナー・教室等参加料 プラネタリウム広告料収入	2,500 7,700 115 360
計			38,899

[歳出]

(単位：千円)

科目	当庁予算額	管理運営	調査研究	展示開催	資料収集	教育普及	プラネタリウム 投映・維持管理	移動天文車 維持管理
報酬	222	222						
賃金	7,134	3,144		1,381	2,609			
報償費	1,607		200	306	64	350	687	
旅費	1,800	349	250	850	22	50	279	
需用費	41,033	33,561	100	4,390	284	676	1,884	138
役務費	3,877	1,732		1,600		537	8	
委託料	105,769	68,404		17,071	3,080	818	16,060	336
使用料及び賃借料	3,773	1,613			351		1,809	
備品購入費	80						80	
負担金補助 及び交付金	16,830	70	15	16,700		35	10	
計	182,125	109,095	565	42,298	6,410	2,466	20,817	474

3 博物館協議会

四日市市立博物館協議会は、博物館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、博物館法及び四日市市立博物館条例の規定に基づき設置されるもので、平成5年6月1日付けで委員17人（定数20人以内）を委嘱（任期2年）して発足した。平成21年度委員は下表のとおりである。なお、平成21年度協議会は2回開催された。

- 第1回協議会 平成21年8月21日(金) 13:30～
議題：①平成21年度事業実施状況について
- 第2回協議会 平成22年2月26日(金) 13:30～
議題：①平成21年度下半期事業実施状況について
②平成22年度事業計画案について

[四日市市立博物館協議会委員]

	氏名	職名
学校教育関係	井川 和道	四日市市小学校長会代表
	藤本 俊幸	四日市市中学校長会代表
	堀内 久子	四日市市公立幼稚園長会代表
	片岡 一憲	私立学校代表
社会教育関係	奥村 吉孝	四日市市自治会連合会代表
	岩田 悦子	四日市市立博物館ボランティアの会代表（博物館）
	杉丸 良夫	四日市市立博物館ボランティアの会代表（学習支援）
	伊藤 秀一	四日市市立博物館ボランティアの会代表（天文）
学識経験者	石田 昇三	四日市市文化財保護審議会代表
	山田 正博	四日市萬古陶芸協会代表
	播磨 良紀	四日市大学環境情報学部学部長
	豊田 元子	三重日仏協会理事
	浅田 英夫	天文研究者
	中川 雅嗣	市政記者クラブ代表
※	北川 佳代	四日市市PTA連絡協議会代表

※家庭教育の向上に資する活動を行う者

4 施設の利用

当館の施設の利用については、四日市市立博物館条例第5条により、特別展示室・講座室等を博物館の設置目的に反しない、博物館事業に支障のない範囲において、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するものについて利用を許可している。平成21年度実績は、以下のとおりである。

[特別展示室]

- ・第32回墨友会書作展
平成21年4月2日(木)～5日(日) 墨友会
- ・第41回アート・フラワー研究グループ
平成21年11月18日(水)～22日(日) アート・フラワー研究グループ

[講座室]

- ・MOA美術館四日市児童作品展
10月10日(土)～11日(日) MOA美術館四日市児童作品展実行委員会

- ・歴史講座
8月2日(日) 四日市市教育委員会社会教育課
 - ・子どもの心をわくわくさせる絵本
9月27日(日) 高田短期大学
 - ・伊勢湾台風50年上映会
9月19日(土) 四日市市危機管理室
 - ・平和学習会
8月1日(土) 連合三重三泗地域協議会
 - ・平和研修フィールドワーク
10月1日(木) 大橋学園高等学校
 - ・歴史研究会講演会
1月31日(日) 三重歴史研究会
 - ・三重県都市環境保全対策協議会
10月29日(木) 三重県都市環境保全対策協議会
 - ・四日市西ロータリークラブ職場例会(久留倍官衙遺跡講座)
1月22日(金)
 - ・GOTTANI 祭 in 四日市
11月8日(日) 社団法人四日市青年会議所
 - ・歴史ゼミナール四日市第30期講座 歴史ゼミナール四日市
5月23日、7月25日、9月26日、11月28日、平成22年1月23日、3月27日 各土曜日
 - ・建築の見方基礎講座
2月21日(日) 四日市文化会
- [市民ギャラリー]
- ・御諏訪太鼓宗家小口大八回顧展
5月9日(土)～24日(日) 全国御諏訪太鼓東海連合会
 - ・Paper Quilling 2009
6月2日(火)～7日(日) クラフト工房はんなり
 - ・もとまち芸術予備校基礎課作品展
7月10日(金)～12日(日) もとまち芸術予備校
 - ・人権のひろば展
11月19日(木) 四日市市教育委員会人権・同和教育課
 - ・表具(表装)相談110番
12月1日(火)～12月6日(日) 個人
 - ・中日文化センター写真教室作品展
3月24日(水)～28日(日) 中日文化センター写真教室
 - ・近藤麻美個展
3月30日(火)～4月4日(日) 個人

6 利用状況 (4月1日～平成22年3月31日)

(1) 常設展観覧者数 (無料)

月	開館日数	小中		園児		他団体		小中以下	大人・高大	入館者計
		校	人数	園	人数	数	人数			
4	26	0	0	0	0	0	0	260	636	896
5	28	6	211	0	0	0	0	493	867	1,571
6	25	2	207	22	768	3	44	349	721	2,089
7	27	0	0	3	175	1	8	787	986	1,956
8	26	1	30	0	0	0	0	1,776	1,634	3,440
9	18	1	59	0	0	0	0	125	383	567
10	27	12	687	0	0	2	31	167	567	1,452
11	25	19	1,518	4	125	0	0	162	675	2,480
12	24	1	26	1	31	0	0	198	476	731
1	24	23	1,726	1	59	0	0	329	770	2,884
2	24	24	1,582	5	207	0	0	309	700	2,798
3	26	2	76	3	69	0	0	373	1,017	1,535
合計	300	91	6,122	39	1,434	6	83	5,328	9,432	22,399

(2) 特別展観覧者数

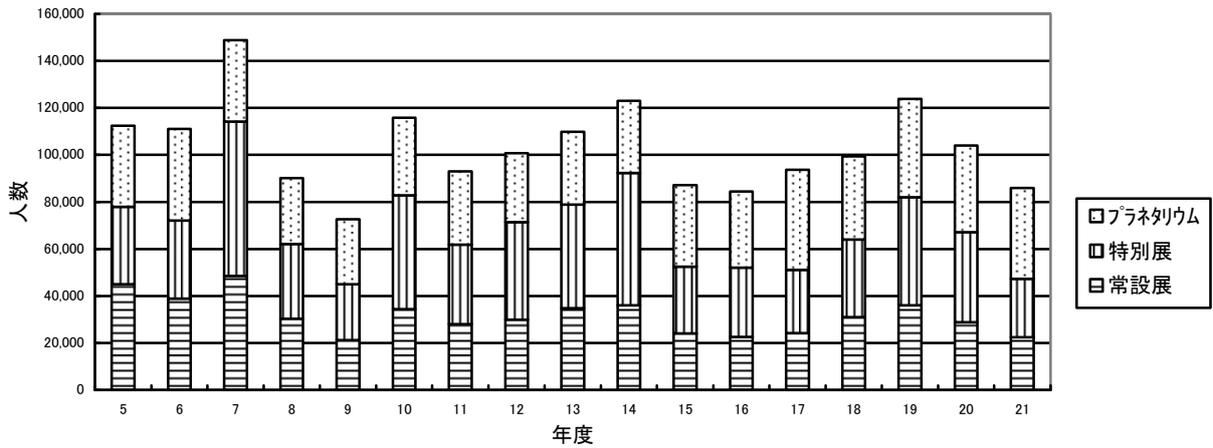
会期	有料観覧者								有料入館者計	無料観覧者							観覧者計				
	個人		団体(割引)		減(5割引)		減(割引)の団体	小中		園児	他団体	小中以下	招待券	引率者	無料入館者計						
	一般	高大	一般	高大	一般	高大										一般		高大	校	人数	園
①	45	1,309	4	275	9	25	0	0	0	1,622	9	358	10	428	3	30	2,506	582	0	3,904	5,526
②	56	1,736	56	660	12	53	1	4	0	2,522	7	307	12	597	3	37	4,899	1,371	0	7,211	9,733
③	45	597	25	132	2	23	0	0	0	779	12	844	0	0	4	42	197	932	0	2,015	2,794
④	38	602	17	66	0	19	0	0	0	704	7	524	2	90	0	0	203	577	0	1,394	2,098
⑤	33	1,489	133	198	11	52	2	0	0	1,885	5	425	5	179	0	0	678	1,638	0	2,920	4,805
合計	217	5,733	235	1,331	34	172	3	4	0	7,512	40	2,458	29	1,294	10	109	8,483	5,100	0	17,444	24,956

- ①木とあそぼ！展
- ②フェアブル昆虫記の世界展
- ③包むころろ ふろしき展
- ④古代朝明の風景 久留倍遺跡展
- ⑤内藤ルネ展

(3) プラネタリウム観覧者数

月	放映回数	有料観覧者																								観覧者合計	
		個人			団体割引(2割引)			減(5割引)			減(5割引)の団体			特別放映	有料入館者計	小中		園児		他団体		幼児	招待券	引率者	特別放映		無料入館者計
		一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中			校	人数	園	人数	数	人数						
4	61	311	39	168	57	0	24	12	0	7	0	0	0	0	618	0	0	0	0	0	0	150	138	0	0	288	906
5	77	669	78	363	113	6	74	28	2	3	0	0	0	148	1,484	0	0	0	0	0	0	208	272	8	36	524	2,008
6	84	612	33	379	112	4	122	44	0	4	0	0	0	139	1,449	3	289	52	2,178	1	25	260	77	0	48	2,877	4,326
7	105	1,344	40	1,495	268	2	291	56	2	6	34	0	0	128	3,666	4	854	27	1,232	2	29	597	739	4	29	3,484	7,150
8	106	1,553	79	2,121	335	11	660	73	3	35	1	0	1	245	5,117	1	1,477	0	107	0	0	603	839	1	12	3,039	8,156
9	58	331	33	192	59	2	77	35	2	7	0	0	0	0	738	7	350	1	37	1	9	165	198	4	0	763	1,501
10	88	380	26	209	75	1	890	13	1	4	0	0	0	217	1,816	7	629	2	166	1	11	147	54	73	67	1,147	2,963
11	85	374	22	224	69	1	301	14	1	2	0	0	0	41	1,049	15	1,213	4	125	1	15	166	120	27	17	1,683	2,732
12	68	265	32	162	77	6	116	24	2	6	39	0	2	135	866	4	225	3	136	0	0	122	313	2	16	814	1,680
1	80	366	17	271	101	5	74	20	1	5	0	0	0	0	860	18	1,441	2	88	0	0	221	222	4	0	1,976	2,836
2	72	361	34	243	85	2	60	22	1	5	0	0	0	39	852	8	473	10	538	0	0	214	131	4	68	1,428	2,280
3	76	481	29	407	88	7	56	10	1	1	0	0	0	52	1,132	1	11	6	376	0	0	294	177	0	10	868	2,000
合計	960	7,047	462	6,234	1,439	47	2,745	351	16	85	74	0	3	1,144	19,647	68	6,962	107	4,983	6	89	3,147	3,280	127	303	18,891	38,538

(4) 観覧者数 移



年度(平成)	5	6	7	8	9	10	11
常設展	44,996	38,881	48,481	30,359	21,142	34,411	28,052
特別展	32,961	33,209	65,681	31,700	23,804	48,442	33,733
ラ列	34,515	38,966	34,674	28,068	27,661	32,937	31,234
合計	112,472	111,056	148,836	90,127	72,607	115,790	93,019
計	112,472	223,528	372,364	462,491	535,098	650,888	743,907

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
29,966	34,758	36,058	24,093	22,626	24,171	30,978	36,001	28,781	22,399
41,432	44,082	56,309	28,413	29,498	26,940	33,098	45,980	38,347	24,956
29,317	31,011	30,689	34,591	32,333	42,519	35,264	41,926	36,900	38,538
100,715	109,851	123,056	87,097	84,457	93,630	99,340	123,907	104,028	85,893
844,622	954,473	1,077,529	1,164,626	1,249,083	1,342,713	1,442,053	1,565,960	1,669,988	1,755,881

○四日市市立**博物館**条例

平成5年3月30日条例第16号

〔注〕平成16年12月から改正経過を注記した。

四日市市立**博物館**条例

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2及び**博物館法**(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、**博物館**の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、自然科学及び人文科学に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供するとともに、プラネタリウムによる天体運行等の映写を行い、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、四日市市立**博物館**(以下「**博物館**」という。)を四日市市安島一丁目3番16号に設置する。

(事業)

第3条 **博物館**は、前条の設置目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、美術工芸、天文等に関する実物、複製、複写、模型、図書、図表、写真、フィルム、レコード等の資料(以下「**博物館**資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及び利用に供すること。
- (2) **博物館**資料の利用者に対する説明、助言及び指導に関すること。
- (3) **博物館**資料に関する専門的、技術的な調査研究に関すること。
- (4) **博物館**資料の保管、展示等に関する技術的研究に関すること。
- (5) **博物館**資料に関する解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (6) **博物館**資料に関する講演会、研究会等を開催すること。
- (7) 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- (8) 他の**博物館**、図書館、学校その他関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (9) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天体観測の指導に関すること。
- (10) その他必要な事業

(観覧料)

第4条 **博物館**特別展示を観覧しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。
2 前項の規定にかかわらず、心身障害者で、受付において身体障害者手帳、療育手帳又はこれらに代わるものを提示したものの観覧料の額は、別表第2に定める額とする。

(特別展示室等の使用)

第5条 四日市市教育委員会(以下「委員会」という。)は、第2条の設置目的に反せず、第3条の事業に支障のない範囲内において、展示発表等のため、**博物館**の特別展示室、講座室及び市民ギャラリー(以下「特別展示室等」という。)の使用を許可することができる。
2 前項の規定により、特別展示室等を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

3 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を規則で定める期限までに納付しなければならない。

(特別利用の許可等)

第6条 **博物館**資料の熟覧、模写、模造、撮影等をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、2,100円の範囲内において規則で定める手数料を納付しなければならない。

(館外貸出し)

第6条の2 **博物館**資料は、次の各号のいずれかに該当するときは、館外への貸出しをしない。ただし、委員会は、他の**博物館**、図書館、学校等適当と認めたものについて、**博物館**資料の館外貸出しを許可することができる。

- (1) 館外貸出しによって**博物館**資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員が認めたとき。
- (2) 現に**博物館**資料が展示されているとき。
- (3) その他委員会が**博物館**資料の館外貸出しをすることを不適当と認めたとき。

(入館等の制限)

第7条 委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、**博物館**への入館を拒否し、若しくは退館を命じ、又は第5条第2項及び第6条第1項の許可をしない。

- (1) 公安、風俗その他公益を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設、附属設備等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) その他委員会において管理上支障があると認めたとき。

(観覧料、使用料及び手数料の減免)

第8条 市長は、特に必要があると認めたときは、観覧料、使用料及び手数料を減額又は免除することができる。

(観覧料、使用料及び手数料の還付)

第9条 既納の観覧料、使用料及び手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(権利の譲渡等の禁止)

第10条 第5条第2項、第6条第1項及び第6条の2の規定により許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、その権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第11条 委員会は、使用者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、許可の条件を変更し、又は使用若しくは利用を停止し、若しくは許可を取り消すことができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (4) その他委員会において特に必要があると認めたとき。

(特別の設備等)

第12条 使用者は、既存の設備を変更し、又は特別の設備を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の承認を受けなければならない。

(原状回復の義務)

第13条 使用者は、その使用若しくは利用を終了したとき又は第11条の規定により使用若しくは利用を停止され、若しくは

許可を取り消されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

- 2 使用者が前項の義務を履行しないときは、委員会においてこれを執行し、使用者からその費用を徴収する。

(損害賠償)

第14条 使用者は、使用若しくは利用中に建物、附属設備等を損傷又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(博物館協議会)

第15条 博物館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、法第20条第1項の規定に基づき、博物館に四日市市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。
- 3 協議会の委員の定数は、20人以内とする。
- 4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第3条第1号(博物館資料の展示及び利用に供する部分に限る。)、第2号及び第8号並びに第4条から第14条までの規定は規則で定める日から(平成5年6月4日市市規則第33号で、同5年11月1日から施行)、次項の規定は平成5年9月1日から施行する。

(四日市市立郷土資料庫条例の廃止)

- 2 四日市市立郷土資料庫条例(昭和45年四日市市条例第38号)は、廃止する。

附 則(平成9年3月27日条例第3号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月29日条例第44号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成16年12月28日条例第55号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年2月7日から施行する。
- (経過措置)
- 7 改正後の四日市市立博物館条例第4条、別表第1及び別表第2の規定は平成17年4月1日以後の観覧から、第5条、第6条及び別表第3の規定は平成17年4月1日以降の使用許可申請に係るものから適用する。

附 則(平成17年3月28日条例第22号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。
- (経過措置)

- 2 改正後の四日市市立博物館条例別表第3備考の規定は、施行日以後の申請にかかるものから適用し、同日前の申請にかかるものについては、なお従前の例による。

附 則(平成18年10月5日条例第45号)

この条例は、平成18年12月9日から施行する。

附 則(平成21年1月23日条例第1号)

この条例は、公布の日から施行する。

別表第1(第4条関係)

区分	博物館特別展示1人1回につき	プラネタリウム1人1回につき	プラネタリウム特別番組1人1回につき
一般	2,100円の範囲内で委員会が定める額	530円	2,100円の範囲内で委員会が定める額
大学生・高校生		370円	
中学生・小学生	無料	200円	

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上の者(「大学生・高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校その他これらに準ずる学校に在学する者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、小学校その他これらに準ずる学校に在学する者をいう。
- 4 小学校就学までの者は、無料とする。
- 5 20人以上の団体は、1人1回につき規定料金の100分の80の額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

別表第2(第4条関係)

区分	博物館特別展示1人1回につき	プラネタリウム1人1回につき	プラネタリウム特別番組1人1回につき
一般	1,050円の範囲内で委員会が定める額	250円	1,050円の範囲内で委員会が定める額
大学生・高校生		180円	
中学生・小学生	無料	100円	

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上の者(「大学生・高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校その他これらに準ずる学校に在学する者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、小学校その他これらに準ずる学校に在学する者をいう。
- 4 小学校就学までの者は、無料とする。

- 5 20人以上の団体は、1人1回につき規定料金の100分の80の額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

別表第3(第5条関係)

区分	午前	午後	全日
	午前9時30分から正午まで	午後1時から午後5時まで	午前9時30分から午後5時まで
特別展示室	—	—	31,500円
講座室	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー	—	—	2,100円

備考 使用者が観覧料、受講料その他これらに類するものを徴収する場合は、上記の金額に100分の50を乗じて得た額を加算する。

- 四日市市立**博物館**条例施行規則
平成5年3月31日教委規則第5号

〔注〕平成14年12月から改正経過を注記した。

四日市市立**博物館**条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、四日市市立**博物館**条例(平成5年四日市市条例第16号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 四日市市立**博物館**(以下「**博物館**」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、四日市市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第3条 **博物館**の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる場合は、その翌日とする。
- (2) 12月29日から翌年1月3日まで

(観覧の手続)

第4条 **博物館**資料の展示会場に入場しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、観覧料の納入の際に観覧券の交付を受け、展示室及びプラネタリウム室の入口においてこれを係員に提示又は提出しなければならない。

(使用許可の申請)

第5条 条例第5条第2項の規定により、特別展示室等の使用の許可を受けようとする者は、四日市市立**博物館**使用許可申請書(第1号様式。以下「申請書」という。)により委員会に申請しなければならない。

- 2 前項の申請の受付は、使用しようとする日(引き続き2日以上使用しようとする場合は、その最初の日をいう。以下「使用日」という。)の属する月の初日前6月からとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、前項に定める期間前に受付できるものとする。
 - (1) 四日市市又は委員会が行う事業又は主催する行事に使用するとき。
 - (2) その他委員会が特に必要があると認めるとき。
- 4 第1項に規定する申請書の受付時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、休館日の受付は行わない。

(使用の許可)

第6条 委員会は、前条第1項の使用許可の申請について適当と認めるときは、使用の許可を決定し、四日市市立**博物館**使用許可書(第2号様式。以下「許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

- 2 **博物館**の使用について許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、**博物館**使用の際に、前項の許可書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(使用の変更及び取消し)

第7条 使用者は、許可書に記載された事項を変更し、又は施設の使用を取り消そうとするときは、四日市市立**博物館**使用

変更(取消)許可申請書(第3号様式)に許可書を添えて委員会に提出しなければならない。

- 2 委員会は、前項の規定により使用の変更又は取消しを許可したときは、四日市市立**博物館**使用変更(取消)許可書(第4号様式。以下「変更(取消)許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

(附属設備の名称及び使用料の額)

第8条 **博物館**の附属設備の使用料の額は、別表第1に定める額とする。

(使用料の納付)

第9条 使用者は、使用の許可と同時に使用料を納付しなければならない。

- 2 官公署が使用する場合にあっては、前項の規定にかかわらず、別に納付期限を定めることができるものとする。

(観覧料の減免)

第10条 条例第8条の規定に基づく観覧料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 四日市市及び三重郡に所在する学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する小学校、中学校の児童、生徒が学校教育の一環として教職員に引率されて常設展示、プラネタリウム及び特別展示を観覧するとき。10割
 - (2) **博物館**が開催する特別展示を観覧料を納付して観覧したものが、引き続き常設展示を観覧するとき。10割
 - (3) その他委員会が特別の事由があると認めたとき。その都度委員会が定める割合
- 2 前項の場合において、減額後の額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。
- 3 第1項第1号に定める観覧料の減免を受けようとする者は、四日市市立**博物館**観覧料減免申請書(第5号様式)に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。

(優待券等)

第11条 委員会が特に必要と認めたときは、優待券、招待券及び特別展示前売観覧券を発行することができる。

(使用料の還付)

第12条 条例第9条ただし書の規定により使用料を還付する場合及び還付する額は、次に掲げるとおりとする。

還付する場合	還付する額
ア 災害等特別の事由により、使用者の責めによらない場合において使用できなかったとき。	使用料の全額
イ 使用者が使用日の前7日以前に使用許可の取消しを申請し、許可されたとき。	既納の使用料から取消料(使用料から消費税及び地方消費税に相当する額を除いた額の100分の50に相当する額。ただし、10円未満の端数が生じた場合は、これを四捨五入した額とする。)を差し引いた額

- 2 使用者が第7条の規定により**博物館**の使用の変更を許可された場合において、既納の使用料に過納金が生じたときは、これを還付するものとする。

- 3 前2項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、四日市市立**博物館**使用料還付申請書(第6号様式)に第1項表アの場合にあっては許可書と使用料領収書、同項表イ及び前項の場合にあっては変更(取消)許可書と使用料領収書を添えて委員会に申請しなければならない。
- 4 委員会は、前項の申請を受理し、還付を決定したときは、四日市市立**博物館**使用料還付決定通知書(第7号様式)を申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第13条 **博物館**に入館する者、使用者及び条例第6条第1項の規定により許可を受けた者(以下「使用者等」という。)は、条例及びこの規則に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設を使用し、又は立ち入らないこと。
- (2) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 許可を受けずに張り紙をし、又はくぎ類を打ち、建物その他の物品をき損又は汚損するおそれのある行為をしないこと。
- (4) 騒音を発し、暴力を用いるなど他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) その他委員会が定める事項及び係員の指示に従うこと。

(職務上の立入り)

第14条 使用者等は、係員の職務上の立入りを拒んではならない。

(施設等の損傷の届出)

第15条 使用者等は、施設、附属設備等を損傷又は滅失したときは、直ちに理由を付して委員会に届け出なければならない。

(使用後の届出及び点検)

第16条 使用者等は、条例第13条の規定により施設、設備等を原状に復したときは、速やかに委員会に届け出るとともに、その点検を受けなければならない。

(特別利用の許可の申請)

第17条 条例第6条第1項の規定に基づき、特別利用の許可を受けようとするものは、四日市市立**博物館**資料特別利用許可(減免)申請書(第8号様式)を委員会に提出しなければならない。

- 2 委員会は特別利用の許可をしたときは、四日市市立**博物館**資料特別利用許可書(第9号様式)を交付するものとする。
- 3 四日市市立**博物館**資料特別利用許可書の交付を受けたものは、直ちに条例第6条第2項に基づく手数料を納付しなければならない。
- 4 前項に定める手数料の額は、別表第2に定める額とする。

(手数料の減免)

第18条 条例第8条の規定に基づく手数料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 市、県又は国若しくは他の地方公共団体が行う教育、学術若しくは文化の事業又はこれらの事業の普及の用途に供することを目的とするとき。10割
- (2) 私立の**博物館**、図書館、学校等が行う教育又は研究の用途に供することを目的とするとき。10割
- (3) 主に学術研究の用途に供することを目的とするとき。10割
- (4) その他委員会が特別の事由があると認めたとき。その都度委員会が定める割合

- 2 前項の場合において、減額後の額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。
- 3 第1項に定める使用料の減免を受けようとする者は、四日市市立**博物館**資料特別利用(減免)申請書(第8号様式)に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。

(特別利用の制限)

第19条 次の各号のいずれかに該当するときは、特別利用の許可をしない。

- (1) 特別利用によって**博物館**資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員会が認めたとき。
- (2) 現に**博物館**資料が展示されているとき。
- (3) 寄託された**博物館**資料で寄託者の同意を得ていないとき。
- (4) 著作権がある**博物館**資料で著作者の承諾を得ていないとき。
- (5) その他委員会が特別利用をすることが不適当と認めたとき。

(館外貸出しの許可等)

第20条 条例第6条の2ただし書きの規定により、**博物館**資料の館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ四日市市立**博物館**資料館外貸出許可申請書(第10号様式)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 委員会は、**博物館**資料の館外貸出しを認めた場合は、四日市市立**博物館**資料館外貸出許可書(第11号様式)を交付するものとする。
- 3 **博物館**資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。ただし、委員会が特に必要があると認めたときは、この限りでない。

(協議会の委員長及び副委員長)

第21条 条例第15条に規定する四日市市立**博物館**協議会(以下「協議会」という。)に、委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によって選出する。

- 2 委員長及び副委員長の任期は、委員としての在任期間とする。
- 3 委員長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第22条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、定例会及び臨時会とし、定例会は、年2回、臨時会は必要に応じて開催する。

- 2 会議は、委員長が召集し、委員長がその議長となる。
- 3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第23条 協議会の庶務は**博物館**において処理する。

(補則)

第24条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第2条から第20条までの規定は、条例附則ただし書きに規定する規則

で定める日から、次項の規定は、平成5年9月1日から施行する。

(四日市市立郷土資料館条例施行規則の廃止)

- 2 四日市市立郷土資料館条例施行規則(昭和45年四日市市教育委員会規則第5号)は、廃止する。

附 則(平成9年3月28日教委規則第9号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月11日教委規則第4号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月27日教委規則第7号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年12月27日教委規則第11号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年2月3日教委規則第31号)

(施行期日)

- 1 この規則は、平成17年2月7日から施行する。ただし、四日市市立**博物館**条例施行規則第2条の改正は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の四日市市立**博物館**条例施行規則第8条、第12条、第17条、第18条、別表第1及び別表第2の規定は、平成17年4月1日以後の使用又は利用許可申請に係るものから適用する。

別表第1(第8条関係)

区分	使用料(一回一式)
16ミリ映写機	2,100円
スライド映写機	1,050円
プロジェクター	1,050円

別表第2(第17条関係)

区分	手数料(一点一日)
熟覧	320円
模写	1,050円
拓本	1,050円
撮影	1,050円

Ⅲ 施設概要

所在地 〒510-0075

三重県四日市市安島一丁目3番16号

電話 059-355-2700(代)

FAX 059-355-2704

施設規模	敷地面積	1,845.840 m ²
	建設面積	1,590.397 m ²
	延床面積	10,147.108 m ²
	建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
		地下2階地上6階
	建物の高さ	38.075m
	建物イメージ	歴史(石を用いた古典的な様式)
		現代(石、土ものの自然素材と金属、ガラスなどの組み合わせによる新旧共存)
		未来(金属板の仕上げ =プラネタリウム)
	色彩イメージ	
	1階	海 青
	2階	大地 橙
	3階	草花 黄
	4階	山脈 緑
	5階	空(宇宙) シルバーメタリック
	地域・商区	
		商業地域・防火地域
		建ぺい率100%(耐火)、容積率600%

主な室名と面積

●展示・教育部門		2,156.155 m ²
常設展示室	2階	564.691 m ²
〃	3階	454.618 m ²
特別展示室	4階	594.798 m ²
ラウンジ	2～4階	281.02 m ²
情報コーナー	1階	118.81 m ²
講座室	1階	142.218 m ²
●収蔵部門		1,256.23 m ²
第1収蔵庫	地下2階	243.29 m ²
〃 前室	地下2階	38.88 m ²
第2収蔵庫(恒温恒湿)	地下1階	282.17 m ²
第3収蔵庫	地下1階	384.496 m ²
〃 前室	地下1階	76.086 m ²
荷解室	1階	231.308 m ²
●研究部門		430.207 m ²
作業室	2階	60.464 m ²
資料整理室	地下1階	84.37 m ²
文献資料室	3階	37.952 m ²
資料評価室	4階	33.3 m ²
燻蒸室	地下1階	43.07 m ²
スタジオ暗室	地下1階	87.51 m ²
ビデオ編集室	地下1階	16.882 m ²
第2会議室	4階	37.952 m ²
第3会議室	3階	28.707 m ²
●プラネタリウム部門		1,714.282 m ²
客席(ドーム)	5・6階	565.017 m ²
天文学習室	5階	59.081 m ²

天文展示コーナー	5階	194.763 m ²
天文係事務室	5階	59.326 m ²
空調機械室	5・6階	836.095 m ²
●管理・一般部門		4,590.234 m ²
事務室	3階	105.059 m ²
館長室	2階	37.001 m ²
第1会議室	2階	50.422 m ²
ミュージアムショップ	1階	28.723 m ²
警備室	1階	20.812 m ²
中央監視室	地下2階	44.064 m ²
設備機械室	地下2階	486.190 m ²
電気室、発電機室	地下2階	240.152 m ²
倉庫、展示備品庫など		3,577.811 m ²

プラネタリウム(1,714 m²)

ドーム径18.5m 傾斜型(斜度20度) 164席

GSSヘリオス(五藤光学研究所)

7.4等星 25,000個の恒星が投影可能

分離型惑星投映機 9台

スカイライン投映機(80+80シーン)

マルチイメージシステム

マルチサウンドシステム

全天周映画 可能

アストロビジョン70(10パーフォーレーション)

プラネタリウムとの同期可能(ショートフィルム)

主な施工業者

建築	(株)鴻池組	三菱建設(株)	丸藤建設(株)
電気	(株)電工社	四日市電機(株)	
設備機械	須賀工業(株)	ダイダ(株)	三東工業所
プラネタリウム	(株)五藤光学研究所		
建築設計	(株)石本建築事務所		
展示設計	(有)ササキ企画		
展示	商工美術(株)		
展示映像	中部松下システム(株)		
ハイビジョン	中部松下システム(株)		
陶壁	萬古環境造形体		

設備概要

●空調設備

1. 空調熱源機器設備

①スクリーン冷凍機

(冷房能力293,000Kcal/h[97URST])

暖房能力254,000Kcal/h)

2基

②スクリーン冷凍機用空気熱交換機

2基

送風機(低騒音型3,400 m³/min)

3台

③蓄熱槽

2. 空調、換気及び排煙機器設備

①空調機

エアーハンドリングユニット

9基

パッケージ型空調機

30基

ファンコイルユニット

20基

全熱交換機

5基

②送、排風機

シロッコファン

2基

軸流ファン

8基

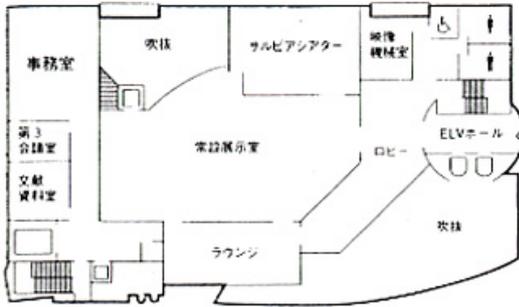
ラインファン

13基

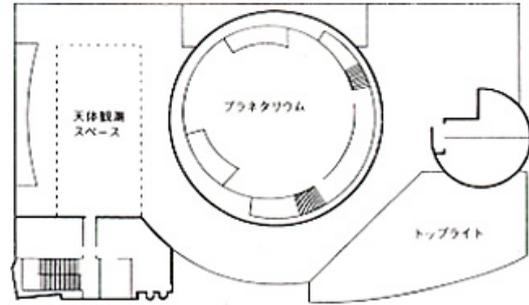
消音ボックス付ラインファン	20 基	CCD	1 台
デリベントファン	1 基	モニターテレビ	5 台
排煙ファン	3 基	③防火扉	47 箇所
排煙口	25 基	④防火・防炎シャッター	32 箇所
3. その他機器		⑤排煙口	28 箇所
①フィルターユニット		●電気設備	
外気新鮮空気処理ユニット	3 基	①受電電圧 交流 3 相 3 線式 660V 60Hz	
②消音マフラーユニット	9 基	②変圧器	
③その他付属設備	一式	動力用	
4. 空調配管設備		3 相 6.6KV/210V 300KVA	1 台
①空調用ポンプ	14 基	3 相 6.6KV/210V 500KVA	1 台
②冷温水 2 次ポンプ可変速制御盤	1 基	3 相 6.6KV/210V 150KVA	2 台
③冷水ヘッダー	2 基	3 相 6.6KV/440V 500KVA	1 台
④温水ヘッダー	2 基	電灯用	
⑤冷温水用防蝕装置	4 基	1 相 6.6KV/210V/105V 300KVA	2 台
⑥その他付属設備	一式	1 相 6.6KV/210V/105V 100KVA	1 台
●給排水衛生設備		③自家用発電機	
1. 給水設備		6 気筒 4 サイクルディーゼル機関	
①ポンプ 揚水ポンプ	2 基	480Ps 1200rpm	1 台
②受水槽 有効容量 12.7 m ²		3 相交流同期発電機 400KVA 6600V	1 台
(2 分割-複合盤)	1 基	④電線路電圧 6600V 440V 210V 105V	
③高架水槽 有効容量 6.3 m ²		⑤電気室 高低圧配電盤	19 面
(2 分割-SUS444) 保温	1 基	動力制御盤	15 面
④電機湯沸器 貯湯量 10 ㎥	3 基	電灯分電盤	21 面
⑤ウォータークーラー		端子盤	12 面
壁埋込式、ステンレス製	2 基	⑥低圧回路	
冷水能力 301/㎥		⑦低圧負荷設備	
⑥その他付属設備	一式	電動機合計容量 1, 123. 023KW	130 台
2. 排水設備		電灯コンセント合計容量 476KVA	2, 115 個
公共下水道接続箇所		⑧直流電源装置	
①湧水排水ポンプ	6 基	100V 非常照明用 発電設備機器操作用	
②雑水排水ポンプ	2 基	全自動サイリスター式整流器	
③雨水排水ポンプ	2 基	(入力 交流 3 相 200V 60Hz	
●燻蒸設備(真空殺虫殺菌装置)	3. 15 m ²	直流出力電流 50A 3 相全波整流)	1 面
●消防設備		蓄電池 ペースト式高率放電用鉛蓄電池	
①屋内消火栓ポンプ	1 基	2V×54 セル	
②屋内消火栓設備		⑨交流無停電電源装置	
屋内消火栓箱	12 基	100V 中央監視装置用	
屋内消火栓箱(併設型)	4 基	商用同期常時インバーター給電方式	
③連結散水設備 閉鎖型(8 系統)	一式	(交流入出力 単相 2 線式 100V 60Hz	
④ハロン消火設備 7 系統		出力容量 5KVA)	
(特別展示室、第 1・2・3 収蔵庫、		⑩電気時計 水晶発信式 6 回路	
前室、電気室、発電機室)	一式	親時計 1 台 子時計 41 台	
⑤救助袋 3-5 階	6 台	⑪放送設備 防災アンプ 480W	20 回路
⑥自動火災報知設備		⑫電話設備 デジタル電子交換機	一式
差動スポット感知器	6 個	多機能電話機	15 台
定温スポット感知器	14 個	一般電話機	37 台
煙感知器	384 個	⑬テレビ共聴設備 CATV 引込(CTY)	
炎感知器	4 個	⑭中央監視設備	
⑦非常放送設備	一式	SAVIC-NET50 による監視システム	
⑧消火器	38 本	●エレベータ	
⑨誘導灯設備 避難口誘導灯	54 台	1. 2 号 乗用(展望用) 定員 17 名 1150Kg 90m/分	
通路誘導灯	39 台	3 号 乗用 定員 11 名 750Kg 105m/分	
客席誘導灯	22 台	4 号 人荷用 定員 67 名 4400Kg 30m/分	
⑩その他付属設備		5 号 乗用 定員 11 名 750Kg 30m/分	
●防犯設備		●その他設備 昇降リフト(2 トリ、荷解室)	1 台
①防犯設備 熱感センサー	46 個	ゴンドラ(ガラス清掃用)	2 台
②監視カメラ 1-4 階 カラードーム型	16 台	自動扉	4 箇所

館内見取図

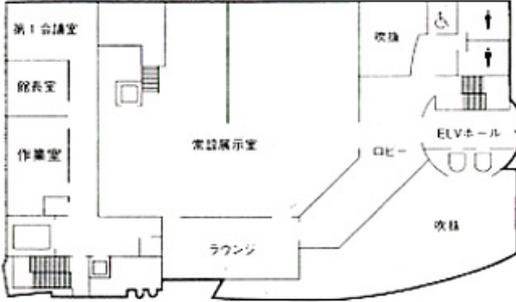
3階平面図



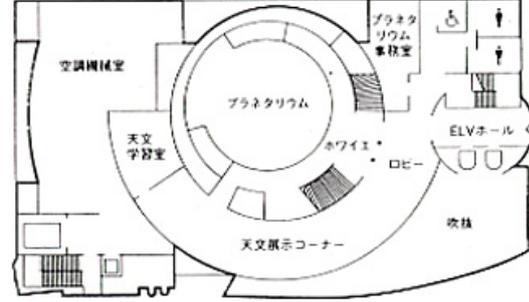
6階平面図



2階平面図



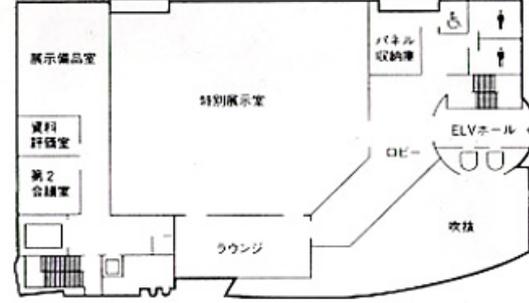
5階平面図



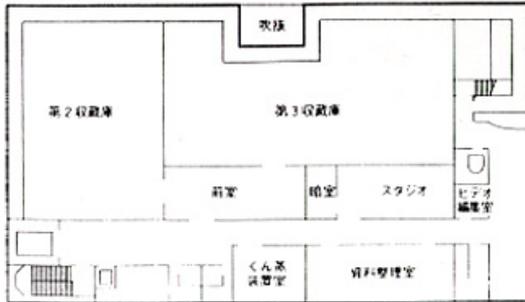
1階平面図



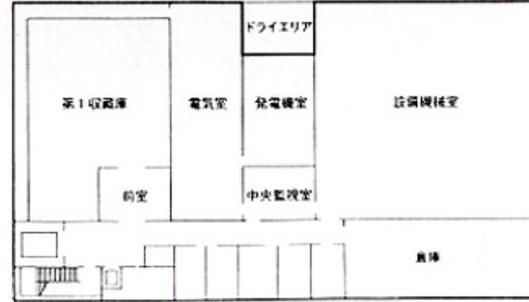
4階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



●設計概要

敷地は、旧四日市工業高等学校跡地の一角で、街区内には、都市公園を介して地場産業振興センター、アムスクエア(現ララスクエア)などがあり、それらとの調和を図る必要があった。そこで、形態的には都市公園を介してオープンなアトリウムで呼応しあう関係を生み出し、色調的にはアムスクエアのグレイッシュピンクと補色関係にあり、色の映える淡緑青色を基調としている。

外観デザインとしては、博物館とプラネタリウムという複合した機能を持つ建物の性格上、「過去」(歴史)、「現在」、「未来」(宇宙)の調和をテーマとしている。そのことは、基壇部において花崗岩のジェットバーナー仕上げで歴史の積層をイメージし、胴部において割肌タイルにより工業化が進んだ現代だからこそ逆に求められる手造りのあたたかさ、やさしさを表現し、頂部においてステンレスの球体を一部露出させ、未来的、宇宙的なイメージを喚起して、それらの三層構成による対比と調和を図っている。また、都市公園に面する東側はポリウレムの大きさからくる威圧感を低減するために、面を分節化し、水平線を強調したガラスのカーテンウォール、地上の緑が階段状に延長した濃緑色の石貼部、太陽光線をイメージした黄色の垂直線、コンビナートのメタファーとしての金属のパイプや球体により、リズムカルで変化のある構成としている。

内部機能構成としては、地下部分に収蔵部門、1階にエントランス、2～4階に博物館部門、5、6階にプラネタリウム部門を収め、地上部分に5層吹抜のアトリウムを設けることにより積層化した施設の空間的な一体感を生み出す計画としている。また、都市公園に対してオープンな構成とし、それを借景として利用することで空間的な広がりを持たせている。
(石本建築事務所)

IV 利用案内

●博物館を彩る施設(無料利用できる部分)

□エントランスホール(1階)

入口を入ると5階まで吹き抜けているアトリウムとシースルーエレベータが目を引きまします。ここは誰でも入れる自由空間。待ち合わせに最適な場所です。

□情報コーナー(1階)

4台のモニターで、四季にわたり四日市各地に伝わる伝承行事を入館者が自由に見ることができます。また、歴史・自然・美術工芸などの書籍も自由に閲覧できます。

□ミュージアムショップ(1階)

来館の思い出となる記念品や、市・博物館が刊行する図録等の書籍を販売。鉱物や化石、星座グッズなども取りそろえています。

□陶壁(2階ロビー)

四日市市の歴史、美術資料の展示効果と現代建築における陶の材質美との調和を図るため、通路を歩く人の動きとともに画面が変化する一種のだまし絵的效果を意図した。(高さ2.5m 幅5.0m)

A面: 歌川広重作 東海道五十三次「四日市の図」

B面: 歌川國貞作 末広五十三次「蜃気楼の図」

これらを四日市萬古焼の伝統技法により焼成。

制作: 萬古環境造形体

□常設展示室(2階・3階)

